

令和 2 年度

事業概要

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

この事業概要は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの業務などについて収録した。

目 次

1. 役員等	1
2. 評議員会・監査等	3
3. 地区・分区関係	4
4. 活動資金の収納状況	6
5. 国際活動	9
6. 災害救護事業等	10
7. 救急法・健康生活支援講習等の普及	20
8. 赤十字奉仕団等	30
9. 青少年赤十字（J R C）	44
10. 広報・普及活動	48
資料 令和2年度日本赤十字社秋田県支部歳入歳出決算概要	50
11. 医療事業	51
12. 血液事業	56
13. 乳児院の運営	62
14. 日本赤十字社秋田県支部現勢	64

1. 役員等

(令和3年3月31日現在)

1. 支部役員・本社理事並びに代議員

役職名	氏名
支部長	佐竹敬久
副支部長	堀井啓一
	穂積志
監査委員	新谷明弘
	伊藤新
理事・代議員	野口良孝
代議員	三戸俊彦
	江畑佳明
	久米正雄

2. 評議員

地区別	氏名
鹿角市	石井勲
大館市	日景隆
	櫻田玲子
北秋田市	津谷永光
能代市	齊藤滋宣
男鹿市	菅原広二
潟上市	藤原一成
秋田市	野口良孝
	黒崎義雄
	渡邊達夫
	加藤廣征
由利本荘市	川村豊太
	長谷部誠
にかほ市	佐々木保之
	佐藤耕一
大仙市	久米正雄
	高橋トモ子
仙北市	能美忠堯
横手市	高橋大
	佐々木義広
湯沢市	鈴木俊夫
北	小林悦次
山本	田川政幸
中央	齋藤多聞
南	安藤豊
支部長選出	眞井田恭雄
	小玉喜久子
	三戸俊彦
	江畑佳明

3. 赤十字奉仕団秋田県支部委員会委員

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	所属奉仕団	選出区分
委員長	小玉喜久子	潟上市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	中嶋洋子	北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	
	高橋トモ子	大仙市中仙赤十字奉仕団	
	八代千春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委員	佐竹睦子	秋田市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	石川鋭子	能代市赤十字奉仕団	
	小棚木美和子	横手市赤十字奉仕団	
	櫻田玲子	大館市大館赤十字奉仕団	
	土田典子	由利本荘市矢島赤十字奉仕団	
	吉田萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	北村ルミ子	湯沢市赤十字奉仕団	
	阿部美幸	鹿角市赤十字奉仕団	
	村上和美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	門脇トキヨ	仙北市西木町赤十字奉仕団	
	伊藤明美	上小阿仁村赤十字奉仕団	
	堀田キミ子	三種町八竜赤十字奉仕団	
	松崎信子	大潟村赤十字奉仕団	
	村上與子	羽後町赤十字奉仕団	
	三浦泰輔	秋田県青年赤十字奉仕団	
委員	鈴木敦子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	小野敏実都	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石川和男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
	三森幹男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	
	田口昇	秋田県赤十字救急法奉仕団	
	眞井田恭雄	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	

2. 評議員会・監査等

1. 評議員会

評議員会を次のとおり実施した。

(1) 第1回目

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、文書審議を実施した。

報告事項

- ・令和元年度事業報告

審議

- ・議案第1号 令和元年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 令和元年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 令和元年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算

※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。

(2) 第2回目

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、文書審議を実施した。

審議

- ・議案第1号 令和2年度一般会計歳入歳出補正予算
- ・議案第2号 令和2年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第3号 令和2年度社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第4号 令和3年度事業計画
- ・議案第5号 令和3年度一般会計歳入歳出予算
- ・議案第6号 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出予算
- ・議案第7号 令和3年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算

※議案第1号から議案第7号まで原案どおり承認された。

2. 監査委員監査

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、書面による監査を実施した。

3. 地区・分区関係

1. 地区・分区の概況

(令和3年3月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名称	電話番号
秋田市	穂積 志	市長	福祉総務課	018-888-5661
能代市	齊藤 滋宣	市長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横手市	高橋 大	市長	社会福祉課	0182-35-2132
大館市	福原 淳嗣	市長	福祉課	0186-42-8100
男鹿市	菅原 広二	市長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯沢市	鈴木 俊夫	市長	福祉課	0183-73-2122
鹿角市	児玉 一	市長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	長谷部 誠	市長	福祉支援課	0184-24-6315
潟上市	藤原 一成	市長	社会福祉課	018-853-5314
大仙市	老松 博行	市長	社会福祉課	0187-63-1111
北秋田市	津谷 永光	市長	福祉課	0186-62-6637
にかほ市	市川 雄次	市長	社会福祉協議会	0184-43-2543
仙北市	門脇 光浩	市長	社会福祉協議会	0187-52-1624
小坂町	細越 満	町長	福祉課	0186-29-3925
上小阿仁村	小林 悦次	村長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤里町	佐々木 文明	町長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三種町	田川 政幸	町長	福祉課	0185-85-2190
八峰町	森田 新一郎	町長	福祉保健課	0185-76-4608
五城目町	渡邊 彦兵衛	町長	社会福祉協議会	018-852-5192
八郎潟町	畠山 菊夫	町長	社会福祉協議会	018-875-3871
井川町	齋藤 多聞	町長	社会福祉協議会	018-874-2611
大潟村	高橋 浩人	村長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美郷町	松田 知己	町長	福祉保健課	0187-84-4907
羽後町	安藤 豊	町長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東成瀬村	佐々木 哲男	村長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	金 和久	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山本	鈴木 弘哉	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中央	岡本 時彦	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	伊藤 幸喜	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2. 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

新型コロナウイルス感染症のため中止

(2) 新任事務担当者研修会

新型コロナウイルス感染症のため中止

(3) 事業実態調査

新型コロナウイルス感染症のため中止

3. 全国赤十字大会参会・本社研修等

(1) 本社研修

新型コロナウイルス感染症のため中止

(2) 全国赤十字大会

新型コロナウイルス感染症のため中止

4. 活動資金の収納状況

1. 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		元年度実績 人	2年度実績 人	増 減 人	元年度実績 円	2年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	17,868	16,853	△ 1,015	24,290,191	24,005,130	△ 285,061
2	能 代 市	5,570	5,479	△ 91	6,213,650	5,981,250	△ 232,400
3	横 手 市	14,389	13,655	△ 734	13,171,320	12,831,819	△ 339,501
4	大 館 市	9,231	8,799	△ 432	7,483,275	7,148,075	△ 335,200
5	男 鹿 市	8,693	8,574	△ 119	6,171,800	6,054,500	△ 117,300
6	湯 沢 市	13,158	12,394	△ 764	6,608,220	6,221,221	△ 386,999
7	鹿 角 市	8,402	8,313	△ 89	4,497,600	4,434,900	△ 62,700
8	由利本荘市	19,036	18,895	△ 141	13,964,200	13,831,740	△ 132,460
9	潟 上 市	3,964	3,387	△ 577	4,157,100	4,018,602	△ 138,498
10	大 仙 市	18,930	18,446	△ 484	14,243,700	13,760,914	△ 482,786
11	北秋田市	8,317	8,050	△ 267	6,582,100	6,399,300	△ 182,800
12	にかほ市	7,157	7,132	△ 25	5,099,350	5,057,245	△ 42,105
13	仙 北 市	6,897	6,742	△ 155	5,433,352	5,304,305	△ 129,047
14	小 坂 町	1,717	1,815	98	1,189,800	1,174,400	△ 15,400
15	上小阿仁村	686	659	△ 27	558,100	529,700	△ 28,400
16	藤 里 町	1,074	1,061	△ 13	790,300	781,700	△ 8,600
17	三 種 町	3,915	3,424	△ 491	3,388,450	3,033,400	△ 355,050
18	八 峰 町	2,484	2,455	△ 29	1,737,300	1,716,500	△ 20,800
19	五城目町	2,825	2,770	△ 55	2,332,803	2,277,503	△ 55,300
20	八郎潟町	1,853	1,855	2	1,422,100	1,423,000	900
21	井 川 町	1,300	1,291	△ 9	929,000	936,100	7,100
22	大 潟 村	807	815	8	584,900	599,100	14,200
23	美 郷 町	4,821	4,741	△ 80	4,777,500	4,712,700	△ 64,800
24	羽 後 町	4,228	4,099	△ 129	2,839,450	2,749,230	△ 90,220
25	東成瀬村	749	738	△ 11	729,000	719,750	△ 9,250
	計	168,071	162,442	△ 5,629	139,194,561	135,702,084	△ 3,492,477
	支 部 扱	1,111	1,203	92	12,270,632	17,547,872	5,277,240
	総 計	169,182	163,645	△ 5,537	151,465,193	153,249,956	1,784,763

(2) 会員数（協力会員含む）及び活動資金額実績

区分	会員数等			活動資金額						
	目標会員数(A) 人	2年度実績(B) 人	千円以上 会員実績(C) 人	C/B %	寄付 件数 件	目標額(D) 円	会費(E) 円	寄付金(F) 円	活動資金実績 (E+F) 円	平均会費額 (E/B) 円
1 秋田市	18,032	16,853	3,895	23	10,361	26,551,000	13,635,580	10,369,550	24,005,130	809
2 能代市	7,650	5,479	179	3	451	7,162,600	3,095,000	2,886,250	5,981,250	565
3 横手市	17,158	13,655	504	4	1,290	14,298,100	9,532,869	3,298,950	12,831,819	698
4 大館市	10,751	8,799	910	10	150	8,878,700	5,221,400	1,926,675	7,148,075	593
5 男鹿市	9,053	8,574	1,015	12	2	6,627,800	6,053,900	600	6,054,500	706
6 湯沢市	13,897	12,394	2	0	0	7,014,600	6,221,221	0	6,221,221	502
7 鹿角市	8,923	8,313	423	5	35	4,868,000	4,426,600	8,300	4,434,900	532
8 由利本荘市	18,853	18,895	1,767	9	33	14,731,800	13,670,530	161,210	13,831,740	723
9 潟上市	5,178	3,387	114	3	495	4,432,800	1,892,500	2,126,102	4,018,602	559
10 大仙市	20,231	18,446	6,200	34	247	15,440,000	13,692,304	68,610	13,760,914	742
11 北秋田市	8,892	8,050	3,202	40	49	7,022,700	6,386,200	13,100	6,399,300	793
12 にかほ市	7,545	7,132	8	0	163	5,388,500	4,958,345	98,900	5,057,245	695
13 仙北市	7,321	6,742	2,952	44	68	5,785,400	5,287,200	17,105	5,304,305	784
14 小坂町	1,883	1,815	50	3	52	1,306,900	1,158,800	15,600	1,174,400	638
15 上小阿仁村	752	659	238	36	0	620,500	529,700	0	529,700	804
16 藤里町	1,145	1,061	120	11	0	860,500	781,700	0	781,700	737
17 三種町	4,932	3,424	2,274	66	2	4,254,300	3,032,800	600	3,033,400	886
18 八峰町	2,586	2,455	4	0	0	1,815,200	1,716,500	0	1,716,500	699
19 五城目町	3,196	2,770	3	0	139	2,571,200	2,214,700	62,803	2,277,503	800
20 八郎潟町	1,897	1,855	97	5	0	1,452,000	1,423,000	0	1,423,000	767
21 井川町	1,416	1,291	197	15	0	1,051,300	936,100	0	936,100	725
22 大潟村	802	815	42	5	0	639,200	599,100	0	599,100	735
23 美郷町	5,059	4,741	4,599	97	18	4,985,400	4,708,600	4,100	4,712,700	993
24 羽後町	4,100	4,099	0	0	0	2,863,700	2,749,230	0	2,749,230	671
25 東成瀬村	765	738	579	78	0	744,100	719,750	0	719,750	975
計	182,017	162,442	29,374	18	13,555	151,366,300	114,643,629	21,058,455	135,702,084	706
支部扱	0	1,203	952	79	47	0	11,323,410	6,224,462	17,547,872	9,413
総計	182,017	163,645	30,326	19	13,602	151,366,300	125,967,039	27,282,917	153,249,956	770

2. 法人活動資金（指定寄付金含む）

協力法人数 社	活動資金額 円	内 訳		
		金 額 円	法 人 数 社	割 合 %
678	18,627,171	100万円以上	0	0.00
		50万円以上	3	0.44
		20万円以上	7	1.03
		10万円以上	13	1.92
		5万円以上	20	2.95
		3万円以上	279	41.15
		1万円以上	300	44.25
		1万円未満	56	8.26

3. 過去5年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

(1) 一般活動資金（個人指定寄付金含む）

年度別	収納実績 円	前年度比 %	会員数 人	前年度比 %
28	150,507,028	95.0	181,004	100.0
29	154,170,199	107.3	178,531	98.6
30	149,570,605	91.5	175,181	98.1
元	151,465,193	101.2	169,182	96.5
2	153,249,956	101.0	163,645	96.7

(2) 法人活動資金（指定寄付金含む）

年度別	収納実績 円	前年度比 %	法人数 社	前年度比 %
28	15,664,698	133.7	628	117.2
29	19,925,047	127.2	610	97.1
30	20,158,857	101.2	699	114.6
元	20,926,342	103.8	746	106.7
2	18,627,171	89.0	678	90.8

5. 国際活動

1. 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している2カ国に対する「救急法普及支援事業」並びに学校等における衛生環境改善や災害リスク軽減のニーズが高い2カ国に対する「青少年赤十字海外支援事業」を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として実施した。

(1)資金援助協力の状況

東ティモール	救急法普及支援事業秋田県支部負担	141,000円
	(※日赤第1ブロック全体で 1,500,000円を支援)	
ラオス	救急法普及支援事業秋田県支部負担	282,000円
	(※日赤第1ブロック全体で 3,000,000円を支援)	
ネパール	青少年赤十字海外支援事業秋田県支部負担	118,000円
	(※日赤第1ブロック全体で 1,250,000円を支援)	
バヌアツ	青少年赤十字海外支援事業秋田県支部負担	118,000円
	(※日赤第1ブロック全体で 1,250,000円を支援)	
	秋田県支部負担計	659,000円
	(※日赤第1ブロック全体で 7,000,000円を支援)	

2. 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK 秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

3. 海外救援金の受付状況

(令和3年3月31日現在)

名称	件数(件)	金額(円)
バングラディッシュ南部避難民救援金	2	100,210
NHK海外たすけあいキャンペーン(※)	198	736,532
計	200	836,742

※郵便振替(本社受付分)は含まず。

6. 災害救護事業等

1. 災害救護活動

(1) 令和2年7月27日から28日までの秋田県大雨被害災害救護活動の実施状況

ア. 大雨の概況

梅雨前線が7月27日から28日にかけて東北地方に停滞、日本海に発生した前線上の低気圧が東北地方を通過し、大気の状態が不安定となり非常に激しい大雨となり、県内10市町村に大雨警報が、6市町村に土砂災害警戒情報が発表された。このうち由利本荘市には記録的短時間大雨情報も発表された。

イ. 被害状況

- ・人的被害 なし
- ・建物被害

区 分	住 家 被 害			非住家 浸 水
	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	
	棟	棟	棟	
秋田県計	3	10	77	124

ウ. 避難所等の状況

- ・開設箇所数 秋田県内 47箇所
- ・最大避難者数 61世帯 108人

エ. 秋田県支部の対応

- ・避難所調査要員派遣及び救援物資輸送・配布

派遣先	派遣期日	派遣人員	活動内容
大 仙 市	7月28日	支部職員3人	避難所状況調査
由利本荘市	7月28日	支部職員1人	避難所状況調査 安眠セット12個配布

(2) 令和2年8月8日から9日までの秋田県大雨被害災害救護活動の実施状況

ア. 大雨の概況

前線が8月8日から9日にかけて東北地方に停滞、前線上に発生した低気圧が東北

地方を通過し、県内 2 市に大雨警報（浸水害）、15市町村に大雨警報（土砂災害）、6 市に洪水警報が発表された。

イ. 被害状況

- ・人的被害 なし
- ・建物被害 非住家 全壊 3 棟

ウ. 避難所等の状況

- ・開設箇所数 秋田県内 38箇所
- ・最大避難者数 105世帯 149人
- ・避難所調査要員派遣及び救援物資輸送・配布

派遣先	派遣期日	派遣人員	活動内容
秋田市	8月9日	支部職員1人 防災Vリーダー1人	避難所状況調査 緊急セット60個配布 安眠セット60個配布

(3) 令和3年1月7日からの秋田県大雪災害救護活動の実施状況

ア. 大雪の概況

12月中旬から日本付近が強い冬型の気圧配置となり、秋田県全域で連日の降雪が続いていたことに重ね、1月7日から8日にかけて低気圧が急速に発達しながら日本海から北日本を通過し、非常に強い風と大雪をもたらした。

秋田県内は、この後も冬期間いっぱい断続的な降雪が続き、積雪が平年を大きく上回る地点が続出し、記録的な豪雪となった。

※災害救助法適用

連日の積雪により、住家倒壊等により多数の住民が生命又は身体に危害を受ける恐れが生じたことから、1月7日、次の7市町村に災害救助法が適用された。

横手市 湯沢市 大仙市 仙北市 美郷町 羽後町 東成瀬村

イ. 被害状況

区分	人的被害			住家被害					非住家被害	
	死者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
		重傷	軽傷							
人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
秋田県計	18	137	109	5	5	305	1	6	3	59

ウ. 避難所等の状況

- ・開設箇所数 秋田県内 57箇所
- ・最大避難者数 83人

エ. 秋田県支部の対応

- ・避難所調査要員派遣及び救援物資輸送・配布

派遣先	派遣期日	派遣人員	活動内容
秋田市	1月8日	支部職員4人	避難所状況調査 避難所で役立つ知識周知
横手市	1月8日	支部職員2人 防災Vリーダー1人	避難所状況調査 安眠セット19個配布
湯沢市	1月8日	支部職員2人 防災Vリーダー1人	避難所状況調査 安眠セット20個配布

(4) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(令和3年3月31日現在)

区 分	救 援 物 資		見 舞 金 円
	毛 布 枚	緊急セット 個	
秋 田 市	19	10	300,000
能 代 市	21	9	120,000
横 手 市	23	15	160,000
大 館 市	11	5	130,000
男 鹿 市	2	1	40,000
湯 沢 市	7	5	110,000
鹿 角 市			50,000
由 利 本 荘 市	22	12	240,000
瀧 上 市	2	1	20,000
大 仙 市	11	5	130,000
北 秋 田 市	16	7	100,000
に か ほ 市			40,000
仙 北 市	10	3	40,000
小 坂 町	1	1	20,000
上小阿仁村			

藤里町	3	1	20,000
三種町			
八峰町			
五城目町			
八郎潟町	1	1	20,000
井川町			
大潟村			
美郷町	7	2	40,000
羽後町	10	6	60,000
東成瀬村			
計	166	84	1,640,000

2. 訓練・研修会の実施状況

(1) 災害救護訓練等

訓練名	期日	場所	主催者	赤十字関係参加人員	
				人数	内訳
秋田県総合防災訓練	8月30日	由利本荘市	秋田県 由利本荘市	15	支部3、病院10 防災Vリーダー2
日本赤十字社 第1ブロック支部 合同災害救護訓練	11月6日 ～7日	岩手県 盛岡市	北海道・東北の 道県支部	12	支部3、病院9

(2) 救護員研修会

期日 9月9日

会場 日本赤十字秋田看護大学・短期大学

参加者 28人

内容 テント設営訓練（ドラッシュテント、エアーテント）

感染症流行下における感染症症状を訴える患者への対応訓練

無線・衛星携帯電話通信訓練

(3) こころのケア研修会

期 日 10月2日
会 場 秋田赤十字病院 多目的ホール
修了者 救護員 21人

(4) こころのケア指導者養成研修会 オンライン形式

期 日 12月15日～18日
会 場 日赤秋田県支部
修了者 秋田赤十字病院 臨床心理士 1名

3. 臨時救護

※新型コロナウイルスの感染拡大のため、安全確保観点から派遣依頼無し。

4. 「赤十字防災セミナー」の実施状況

災害に対する意識や発生時に対する対処方法・応急手当についての知識や技術を習得していただくことを目的に、次のとおり実施した。

内容

- ①赤十字と災害救護について
- ②災害時のマメ知識
- ③非常炊き出し実習
- ④救急法等
- ⑤避難所で役立つ知識と技術
- ⑥災害エスノグラフィ
- ⑦DIG（災害図上訓練）

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 者
秋 田 市	10月25日	土崎壹騎町一区町内会	一 般	14	1	(※)竹内・渡辺
能 代 市	12月3日	能代市社会福祉協議会	一 般	9	1	(支)菊地
横 手 市	11月19日	朝倉公民館	一 般	35	1	(支)碓谷
	3月7日	横手市社会福祉課	一 般	10	1	(※)竹内・高橋邦
計		4回		68	4	

※指導者欄の(支)は支部職員、(※)はボランティアを表す。

5. 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用いただくことを目的に、平成15年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

寄贈台数	3台
車種	日産デイズ（軽四輪自動車）
寄贈市町	潟上市、横手市、井川町
累計	94台（平成15年度～）

6. 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

(1) 移動炊飯器

配置台数	5台
配置地区・分区	大館市、由利本荘市、大仙市、横手市、東成瀬村
累計	91台（平成20年度～）

(2) A E D（自動体外式除細動器）

配置台数	3台
配置地区・分区	北秋田市、能代市、藤里町
累計	127台（平成20年度～）

(3) 発電機

配置台数	5台
配置地区・分区	由利本荘市、男鹿市、湯沢市、八峰町、八郎潟町
累計	55台（平成26年度～）

(4) ワンタッチテント

配置台数	8張
配置地区・分区	由利本荘市、にかほ市、大仙市、横手市（4張）、羽後町
累計	60張（平成28年度～）

7. 救護資器材の整備

- ・業務用無線機（150MHz 車載無線機 5 機）更新整備
- ・災害救援物資「安眠セット」282セット 購入

8. 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（令和3年3月31日現在）

施設別	人数（人）		
	災害対策本部要員	救護班要員	血液供給要員
支部	5	—	—
病院	7	67	—
血液センター	2	—	3
計	14	67	3

※病院の災害対策本部要員については日赤災害医療コーディネートチームであり内訳は次のとおり

- ・日赤災害医療コーディネーター 2人
- ・日赤災害医療コーディネートスタッフ 5人

(2) 救護班の編成状況

（令和3年3月31日現在）

常置施設	救護班数（班）	救護班要員数（人）	職種別要員数（人）
病院	9	67	医師 9 看護師長 9 看護師 18 主事 20 薬剤師 9 助産師 2

(3) こころのケア指導者・要員の登録状況

（令和3年3月31日現在）

施設別	人数（人）	
	こころのケア指導者	こころのケア要員
支部	—	4
病院	7	101
血液センター	—	1
計	6	106

(4) 日本DMAT隊員の登録状況

(令和3年3月31日現在)

常置施設	隊員登録者数(人)	職種別要員数(人)
病院	26	医師 7 看護師 11 業務調整員 8

9. 防災ボランティア登録状況

(令和3年3月31日現在)

区分	登録団体数	男女別数(人)		計(人)
		男	女	
団体	1	82	4	86
個人	—	20	11	31
防災ボランティア・リーダー	—	6	1	7
計	1	108	16	124

10. 救護資器材の主な装備状況

資器材名	数量	備考
150MHZ 帯業務用無線機	33	基地局1、移動局23、携帯用9(血液センターを含む)
400MHZ 帯業務用無線機	24	基地局1、移動局9、携帯用14
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用(内、携帯用2)
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	5	
投光器	2	

資 器 材 名	数 量	備 考
担架	15	
スクープストレッチャー	1	救急用担架
折りたたみ寝台	39	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	3	病院
災害救援車	6	支部
エアートント	2	患者収容用1、診察用1
組立てトイレ	47	
浄水機	1	
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	
医療セット置き台	1	
パーソナルコンピューター	2	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4色(黒・赤・黄・緑)×2組
パルスオキシメーター	1	
AED	1	
フレームテント	2	
ポータブルテレビ	1	
モバイルプリンター	1	
デジタル個人線量計	14	
空中線量率測定用サーベイメータ	1	

11. 救援物資の備蓄状況

品名	数量
毛布	2,540枚
タオルケット	1,899枚
緊急セット	1,590個
安眠セット	470個

12. 救護看護師の養成等

- (1) 「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、態度を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された3年目の看護師を対象に5日間の研修を実施した。(修了者20人)
- (2) 日本赤十字秋田看護大学・短期大学在校生132人(看護学科112人、介護福祉学科20人)に対し、救急法等講習教材(救急法等講習教本、教材セット)を贈呈した。

13. 義援金の受付状況

(令和3年3月31日現在)

名称	件数(件)	金額(円)
東日本大震災義援金	51	1,024,983
平成28年熊本地震災害義援金	6	41,215
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	1	1,506
平成30年7月豪雨災害義援金	5	4,266
令和元年8月豪雨災害義援金	6	35,168
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	6	17,518
令和元年台風第19号災害義援金	31	111,731
令和2年7月豪雨災害義援金	125	4,998,995
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	12	53,664
計	243	6,289,046

7. 救急法・健康生活支援講習等の普及

1. 総括表

	講習名称	回数 (回)	受講者数 (人)	資格修得者数 (人)
救急法	基礎講習	10	239	239
	救急員養成講習	1	18	18
	短期講習	60	1,505	
	計	71	1,762	257
健康生活支援講習	支援員養成講習	1	17	17
	災害時高齢者生活支援講習	4	132	
	短期講習	45	1,384	
	計	50	1,533	17
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	0	0	0
	短期講習	7	324	
	計	7	324	0
幼児安全法	支援員養成講習	1	18	18
	短期講習	27	474	
	計	28	492	18
雪上安全法	救助員Ⅰ養成講習	0	0	0
	短期講習	0	0	
	計	0	0	0
総計		156	4,111	292

2. 救急法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または救急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指導員	資格取得者数
秋田市	6月19日	秋田県労働基準協会	一般	49	2.5	(注) 碓谷・菊地・須藤、 (調) 佐々木、(注) 竹内	
	6月21日	ボーイスカウト	一般	15	4.5	(注) 碓谷・菊地	
	6月21日	厚生ビル管理(株)	警備員	1	1	(注) 伊藤一彦	
	7月6日	手話サークルたんぽぽ	一般	10	2	(注) 菊地	
	8月4日	あきた中央学童クラブ	小学生及び教職員	38	1	(注) 伊藤三	
	8月24日 12月18日	日本赤十字秋田短期大学	短大生	18	5	(注) 碓谷・鎌田・菊地	18
	9月10日	秋田県教育委員会	秋田県養護教諭	24	1.5	(調) 竹澤・今野	
	9月18日	秋田市立高清水小学校	小学生	45	1	(注) 菊地、(注) 竹内	
	10月1日	秋田赤十字病院	職員	26	4	(調) 津谷・三浦・佐川・今野・ 竹澤	

開催地	期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)	指導員	資格 取得者数
秋田市	10月11日	厚生ビル管理(株)	警備員	2	1	(※)伊藤一彦	
	10月12日	秋田県社会福祉協議会	介護職員	11	2	(※)竹内・佐々木靖	
	10月12日	秋田県社会福祉協議会	介護職員	14	2	(※)佐々木靖	
	10月13日	厚生ビル管理(株)	警備員	5	1	(※)伊藤一彦	
	10月15日	秋田リハビリテーション学院	学生	36	5	(※)碓谷	
	10月21日	秋田県労働基準協会	一般	50	3	(※)碓谷・鎌田、(※)若林 (※)佐々木、(※)竹内	
	10月23日	厚生ビル管理(株)	警備員	5	1	(※)伊藤一彦	
	10月24日	厚生ビル管理(株)	警備員	2	1	(※)伊藤一彦	
	10月27日	厚生ビル管理(株)	警備員	1	1	(※)伊藤一彦	
	11月9日	秋田県林業労働対策基金	林業従事者	33	4	(※)碓谷・須藤・川上	
	11月17日	秋田県労働基準協会	一般	35	2	(※)碓谷	
	11月19日	秋田市赤十字奉仕団明徳分団	奉仕団員	14	1	(※)菊地	
	11月25日	介護老人保健施設南寿園	介護職員	11	1	(※)竹内	
	12月1日	秋田南高等学校・中等部	教職員	17	1	(※)菊地、(※)佐々木靖	
	12月2日	秋田南高等学校・中等部	教職員	15	1	(※)碓谷、(※)竹内	
	12月5日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一般	15	4	(※)田口・竹内・松淵・岡部	
	12月17日	日本赤十字秋田短期大学	短大生	19	4	(※)碓谷・鎌田・菊地	
	12月20日	秋田県水泳連盟	スポーツ指導員(水泳)・ 基礎水泳指導員	16	1	(※)菊地	
	1月12日	秋田県立歯科医療専門学校	専門学校生	19	4	(※)長谷川・竹内・渡辺	
	2月5日	秋田県労働基準協会	一般	99	3	※別記のとおり	
	2月24日	日本赤十字秋田看護大学	大学生	38	4	(※)碓谷・菊地 (※)荻原・新沼	
	2月26日	日本赤十字秋田看護大学	大学生	37	4	(※)碓谷・菊地、(※)新沼	
	2月26日	日本赤十字秋田看護大学	大学生	36	4	(※)碓谷・菊地、(※)新沼	
3月6日	日赤秋田県支部	一般	8	4	(※)碓谷・菊地、 (※)長谷川・竹内・渡辺		
能代市	7月20日	第四小学校	小学生	87	1	(※)糸屋幸・糸屋賢 (※)梅田・秋山里	
	7月22日	能代市立能代東中学校	教職員及び生徒	120	1.5	(※)碓谷、(※)佐々木靖 (※)糸屋賢・梅田・大塚・ 秋山里	
	7月30日	能代市立浅内小学校	教職員	12	1	(※)碓谷	
	11月11日	能代市立湊城南小学校	教職員及び生徒	52	1.5	(※)鎌田 (※)佐藤勇・梅田・秋山里	
	11月21日	厚生ビル管理(株)	警備員	3	1	(※)伊藤一彦	
横手市	10月7日	厚生ビル管理(株)	警備員	3	1	(※)伊藤一彦	
男鹿市	7月21日	秋田県立男鹿海洋高等学校	教職員及び生徒	59	1	(※)佐々木靖・渡辺	
湯沢市	7月29日	湯沢市立山田中学校	中学生	59	1	(※)碓谷、(※)土井雅・土井智	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
湯 沢 市	10月3日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	1	1	(※)伊藤一彦	
	10月9日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	3	1	(※)伊藤一彦	
	10月26日	日赤湯沢市地区 湯沢市体育協会	一 般	14	1.5	(※)淀谷、(※)高橋邦・高橋里	
	12月1日	湯沢市教育委員会	稲川スキー場 業 務 従 事 者	21	2	(※)淀谷 (※)高橋文・土井雅・土井智	
	12月7日	湯沢南中学校	生徒及び保護者	120	1	(※)佐々木靖・土井雅・土井智・ 高橋文・高橋里	
	2月1日	秋田県立湯沢翔北高校専 攻科	専 攻 科 生	8	5	(※)淀谷、(※)高橋文・高橋里	
	2月2日	秋田県立湯沢翔北高校専 攻科	専 攻 科 生	8	5	(※)淀谷、(※)高橋文	
鹿 角 市	7月29日	恩徳寺	小 学 生	94	1	(※)長内・梅田・秋山里	
	10月16日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	4	1	(※)伊藤一彦	
	11月21日	十和田地域づくり協議会 青年部	地 域 の 児 童	20	1	(※)長内	
	3月31日	JA かづの農協	警 備 員	1	1	(※)伊藤一彦	
由利本荘市	7月19日	由利本荘市旭町町内会自 主防災会	一 般	15	1	(※)佐藤美	
	7月21日	秋田県立由利高等学校	教 職 員	35	1	(※)竹内・佐藤美・佐々木弘	
	10月6日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	3	1	(※)伊藤一彦	
	11月18日	あまさぎ園	介 護 職 員	8	2	(※)竹内・佐々木靖	
大 仙 市	6月26日	大曲農業高校太田分校	高 校 生	38	2	(※)菊地 (※)高橋邦、高橋文	
	9月24日	大仙市立神岡小学校	教 職 員	18	1	(※)藤井・松淵	
	10月8日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	2	1	(※)伊藤一彦	
	3月28日	イオンモール大曲	一 般	13	0.5	(※)菊地、(※)若林	
	3月28日	イオンモール大曲	一 般	21	0.5	(※)菊地、(※)若林	
北秋田市	7月11日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	プ ール 監 視 員	28	1.5	(※)菊地 (※)糸屋幸・長内・糸屋賢	
	10月13日	日赤北秋田市地区	市 民 、 職 員	13	2	(※)菊地	
	10月15日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	3	1	(※)伊藤一彦	
にかほ市	7月17日	にかほ市象潟 B&G 海 洋センター	プ ール 監 視 員	11	2	(※)淀谷、(※)佐藤美	
小 坂 町	7月30日	小坂町立小坂小学校	教 職 員	25	2	(※)佐々木靖・根本	
八 峰 町	7月22日	八峰町立八峰中学校	中 学 生	29	1	(※)佐々木靖・糸屋賢・大塚・ 秋山里	
	11月7日	八森赤十字奉仕団八森分 会	一 般	13	2	(※)佐藤勇	
八郎潟町	10月14日	厚生ビル管理㈱	警 備 員	4	1	(※)伊藤一彦	
羽 後 町	10月17日	湯沢雄勝スキーパトロー ル連絡協議会	一 般	5	1.5	(※)高橋邦・高橋里	
東成瀬村	10月26日	ノルディックウォーキン グさくらの会	一 般	25	1	(※)高橋里	
計	71回			1,762	136.0		18

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(血)は血液センター職員、(乳)は乳児院職員、(看)は日赤看護大職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救急員養成講習（10時間）を修了し、検定の結果「救急員」に合格した者の数を表す。

※別記 (支)碓谷・鎌田・須藤・川上(病)竹澤(血)若林(乳)佐々木(※)竹内・松淵・渡辺

(2) 指導員研修会の実施

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

3. 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	6月4日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	41	6	(支)稲岡(内)佐藤	
	6月5日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	6月12日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	6月16日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	42	6	(支)稲岡(内)佐藤	
	6月23日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	7月13日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	8月6日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	6	(支)稲岡	
	8月7日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	8月28日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	8月31日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	9月1日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19	3	(支)稲岡	
	9月15日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	32	3	(支)稲岡	
	9月18日	秋田市西部市民サービスセンター	奉 仕 団 員	31	0.5	(支)稲岡	
	10月8日	秋田市広面地区民生児童委員 広面町内会	一 般	19	1.5	(支)稲岡	
	11月13日	秋田寿大学	一 般	65	0.5	(支)稲岡	
	11月17日	秋田市ふれあいサロン	一 般	16	1	(※)菅原	
	11月26日	玲子塾 睦月の会	一 般	15	0.5	(支)稲岡	
	8月26日 12月22日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	17	12	(支)稲岡(内)佐藤	17
12月18日	秋田県老人クラブ連合会	一 般	127	0.5	(支)稲岡		
2月25日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	22	3	(支)稲岡		
能 代 市	9月25日	能代市社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	31	0.5	(支)稲岡	
	10月1日	能代市立淳城西小学校	児 童	19	0.5	(支)菊地	
	12月3日	能代市社会福祉協議会	一 般	9	0.5	(支)菊地	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
能 代 市	3月10日	日赤能代市地区	奉 仕 団 員	26	0.5	(注)稲岡	
横 手 市	7月30日	日赤横手市地区平鹿分区	奉 仕 団 員	68	0.5	(注)稲岡	
	8月26日	横手市民生児童委員協議会 日赤横手市地区	一 般	15	0.5	(注)碓谷	
	11月19日	横手市朝倉公民館	一 般	33	0.5	(注)碓谷	
	9月8日	日赤横手市大雄分区長	奉 仕 団 員	30	0.5	(注)稲岡	
男 鹿 市	11月10日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	18	0.5	(注)菊地	
	11月10日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	20	0.5	(注)菊地	
由利本荘市	9月23日	由利本荘市教育員会 東由利教育学習課	一 般	29	0.5	(注)稲岡	
	11月12日	日赤由利本荘市鳥海分区	奉 仕 団 員	15	0.5	(注)稲岡	
潟 上 市	12月21日	潟上市天王地区民生児童委員協議会	一 般	45	0.5	(注)菊地	
大 仙 市	10月15日	半仙自治会	一 般	24	0.5	(注)稲岡	
	11月19日	日赤大仙市地区仙北分区	奉 仕 団 員 一 般	52	1	(注)稲岡	
	3月28日	日赤大仙市地区中仙分区	奉 仕 団 員	35	0.5	(注)稲岡	
北秋田市	10月30日	北秋田市森吉赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	45	0.5	(注)稲岡	
にかほ市	7月7日	浜の町いきいきサロン 日赤にかほ市地区	一 般	15	1.5	(注)菅原	
	3月3日	日赤にかほ市地区	奉 仕 団 員	40	0.5	(注)稲岡	
仙 北 市	11月27日	仙北市角館赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	43	0.5	(注)稲岡	
八 峰 町	9月29日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	33	0.5	(注)稲岡	
	10月30日	第一泰山会	一 般	14	0.5	(注)菊地	
五城目町	10月30日	森山地区公民館	一 般	14	0.5	(注)碓谷	
八郎潟町	9月17日	八郎潟町ボランティア連絡協議会 日赤八郎潟町分区	奉 仕 団 員 一 般	40	0.5	(注)稲岡	
大 潟 村	12月1日	日赤大潟村分区	奉 仕 団 員 一 般	40	0.5	(注)稲岡	
羽 後 町	12月4日	羽後町立西馬音内小学校	保 護 者 員 教 職 員	50	0.5	(注)菊地	
計		46回		1,401	79		17

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	6月23日	秋田市医師会立秋田看護学校	専 門 学 生	40	3	(注)稲岡
	11月21日	勝平寺	一 般	20	1	(注)伊藤
横 手 市	9月14日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	37	2	(注)稲岡
	10月27日	横手市金沢地区市民地域会	一 般	35	1	(注)稲岡
計		4回		132	7	

※健康生活支援講習全体で、50回、受講者数1,533人、講習時間86時間であった。

- ・指導員欄の(支)は支部職員、(※)はボランティア指導員を表す。
- ・資格取得者数欄は支援員養成講習（12時間）を修了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(3) 指導員研修会

新型コロナウイルスの感染拡大による安全確保の観点から開催中止とした。

(4) 令和2年度健康生活支援講習講師研修会 オンライン形式

日 時 3月15日

出席者 健康生活支援講習講師 稲岡一枝

4. 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	6月9日 12月21日	日本赤十字秋田短期大学	短 大 生	18	12	(支)稲岡	18
	7月1日	こひつじ保育園	保 育 士	15	1.5	(支)稲岡	
	7月2日	こひつじ保育園	保 育 士	13	1.5	(支)稲岡	
	7月15日	秋田駅東保育園	保 育 士	7	1.5	(支)稲岡	
	7月16日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	23	1.5	(支)稲岡	
	7月21日	明德地区主任児童委員 このゆびとまれ	一 般	11	1	(※)伊藤	
	10月25日	秋田赤十字乳児院	一 般	14	1.5	(乳)野呂	
	11月10日	ナーサリーふじ	保 育 士	20	1	(支)稲岡	
	11月11日	ナーサリーふじ	保 育 士	15	1	(支)稲岡	
	11月20日	こどものいえ保育園	保 育 士	5	1	(支)碓谷	
	12月6日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	7	1	(乳)野呂	
	12月9日	特定非営利活動法人 あきた子どもネット	保 育 士	65	2	(支)稲岡	
	12月12日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	4	1.5	(支)稲岡 (乳)野呂・水澤	
	12月20日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	4	1.5	(乳)野呂・水澤	
	1月10日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	5	1	(乳)野呂・水澤	
	1月13日	あきた保育園	保 育 士	12	1.5	(支)稲岡	
1月14日	認定こども園あきたこども森	保 育 士	8	1.5	(支)稲岡		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	1月16日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	6	1.5	(乳)野呂・水澤	
	1月17日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	6	1.5	(乳)野呂・水澤	
	1月23日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	5	1.5	(乳)野呂・高杉	
	2月24日	秋田赤十字看護大学	大 学 生	85	6	(支)稲岡 (看)鈴木・児玉	
横 手 市	10月25日	秋田県健康福祉部 地域・家庭福祉課	一 般	14	1	(乳)野呂	
	11月12日	特定非営利活動法人 あきた子どもネット	保 育 士	50	2	(支)碓谷	
男 鹿 市	9月24日	男鹿市立玉ノ池保育園	保 護 者	8	1	(乳)高杉	
湯 沢 市	7月14日	湯沢よつばこども園	保 育 士	16	1.5	(支)稲岡	
	7月29日	湯沢よつばこども園	保 育 士	17	1.5	(支)稲岡	
大 仙 市	9月3日	(株)ニチイ学館秋田支店	一 般	26	1.5	(支)碓谷・菊地	
大 潟 村	7月28日	日赤大潟村分区	保 育 士	13	1.5	(乳)佐々木	
計	28回			492	54		18

※講習回数28回、受講者数492人、講習時間54時間であった。

※指導員欄の(支)は支部職員、(看)は日赤看護大職員、(乳)は赤十字乳児職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は支援員養成講習（12時間）を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

※2月24日、新型コロナウイルスの感染拡大による安全確保の観点から赤十字秋田看護大学にてオンライン授業を実施。

(2) 指導員研修会

新型コロナウイルスの感染拡大による安全確保の観点から開催中止とした。

(3) 令和2年度第1回幼児安全法講師研究会 オンライン形式

日 時 8月3日

出席者 幼児安全法講師 稲岡一枝

(4) 令和2年度第2回幼児安全法講師研究会 オンライン形式

日 時 1月22日

出席者 幼児安全法講師 稲岡一枝

5. 水上安全法

水を活用して健康の増進を図り、水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資格取得者数
秋 田 市	8月1日	向浜スポーツゾーン総合事務所	一 般	19	1.5	(※)大塚・伊藤三	
能 代 市	7月8日	第五小学校	小 学 生	29	1.5	(※)佐藤勇・糸屋幸・秋山里	
	7月13日	第四小学校	小 学 生	89	2.5	(乳)佐々木 (※)佐藤勇・大塚・糸屋幸・糸屋賢	
由利本荘市	6月26日	ゆり支援学校	教 職 員	31	1	(支)碓谷	
北秋田市	7月11日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	監 視 員	28	0.5	(※)糸屋幸・長内・糸屋賢	
三 種 町	7月16日	森岳小学校	小 学 生	26	1	(※)糸屋幸・糸屋賢・大塚・秋山里	
八 峰 町	7月7日	八森小学校	小 学 生	102	2.5	(※)佐藤勇・糸屋幸・秋山里	
計		7回		324	10.5		0

※指導員欄の(支)は支部職員、(乳)は乳児院職員、(※)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習（14時間）を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

(2) 指導員研修会の実施

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

6. 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人 数 (人)
秋 田 市	8月28日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	19
	9月18日	秋田市西部市民サービスセンター	奉 仕 団 員	31
	11月13日	秋田寿大学	一 般	65
	11月26日	玲子塾 睦月の会	一 般	15
	12月18日	秋田県老人クラブ連合会	一 般	127
	2月25日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	22
能 代 市	9月25日	能代市社会福祉協議会	奉 仕 団 員 一 般	31
	10月1日	能代市立湊城西小学校	児 童	19
	12月3日	能代市社会福祉協議会	一 般	9
	3月10日	日赤能代市地区	奉 仕 団 員	26
横 手 市	7月30日	日赤横手市地区平鹿分区	奉 仕 団 員	68
	8月26日	横手市民生児童委員協議会 日赤横手市地区	一 般	15

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人 数 (人)
横 手 市	9月14日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	37
	9月8日	日赤横手市地区大雄分区長	奉 仕 団 員	30
男 鹿 市	11月10日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	18
	11月10日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	20
大 仙 市	10月15日	半仙自治会	一 般	24
	3月28日	日赤大仙市地区中仙分区	一 般	35
由利本荘市	9月23日	由利本荘市教育委員会 東由利教育学習課	一 般	29
	11月12日	日赤由利本荘市島海分区	奉 仕 団 員	15
潟 上 市	12月21日	潟上市天王地区民生児童委員協議会	一 般	45
北秋田市	10月30日	北秋田市森吉赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	45
にかほ市	3月3日	日赤にかほ市地区	奉 仕 団 員	40
仙 北 市	11月27日	仙北市角館赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	43
八 峰 町	9月29日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	33
	10月30日	第一泰山会	一 般	14
五城目町	10月30日	森山地区公民館	一 般	14
八郎潟町	9月17日	八郎潟町ボランティア連絡協議会 日赤八郎潟町分区	奉 仕 団 員 一 般	40
大 潟 村	12月1日	日赤大潟村分区	奉 仕 団 員 一 般	40
羽 後 町	12月4日	羽後町立西馬音内小学校	保 護 職 者 員	50
計	30回			1,019

7. 救急法等指導員登録状況

(令和3年3月31日現在)

講 習 別	人 数 (人)		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	36	57	93
健 康 生 活 支 援 講 習	27	7	34
水 上 安 全 法	6	22	28
幼 児 安 全 法	19	15	34
雪 上 安 全 法	1	0	1
計	89	101	190

8. テレビ番組での赤十字講習の紹介

(1) 災害時高齢者生活支援講習

①期 日 5月18日収録 (秋田放送)
5月26日(県民防災の日)放送

会 場 日赤秋田県支部研修室

出 演 者 支部職員

内 容 災害時高齢者生活支援講習

②期 日 10月22日収録 (秋田テレビ)
10月26日、12月24日放送

会 場 日赤秋田県支部研修室

出 演 者 支部職員

内 容 災害時高齢者生活支援講習、救急法・健康生活支援講習

(2) みんな安心赤十字TV

期 日 6月30日、7月31日収録 (秋田ケーブルテレビ)
6月30日収録分は8月1日より月3回放送
7月31日収録分は9月3日より月3回放送

会 場 日赤秋田県支部研修室

出 演 者 支部職員

内 容 ①高齢者の事故の予防と応急手当(健康生活支援講習・救急法)
②災害時における高齢者の生活支援(災害時高齢者生活支援講習)

8. 赤十字奉仕団等

1. 組織状況

(令和3年3月31日現在)

奉仕団名		団数(団)	団員数(人)		
			男	女	計
地域奉仕団		53	2,015	12,900	14,915
特別奉仕団	青年奉仕団	5	58	112	170
	秋田県点訳赤十字奉仕団	1	1	5	6
	秋田県赤十字芸能奉仕団	1	9	54	63
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	26	2	28
	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	1	17	5	22
	秋田県赤十字救急法奉仕団	1	33	24	57
	秋田県赤十字災害救護奉仕団	1	8	2	10
	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	1	104	20	124
	特殊奉仕団計	7	198	112	310
合計		65	2,271	13,124	15,395

(1) 地域赤十字奉仕団

(令和3年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団数(団)	班数(班)	団員数(人)		
					男	女	計
秋田市赤十字奉仕団	S23.11.20	佐竹睦子	14	0	0	225	225
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32. 3.26	鈴木一枝	0	0	0	62	62
能代市赤十字奉仕団	S34. 4. 1	石川鋭子	19	71	11	385	396
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44. 7. 5	齊藤正子	7	0	7	304	311
横手市赤十字奉仕団	S45. 4. 1	小棚木美和子	7	30	30	1,844	1,874
大館市大館赤十字奉仕団	S33. 9.17	櫻田玲子	10	0	0	1,350	1,350
大館市比内赤十字奉仕団	S35. 6.24	安部正子	4	0	0	640	640
大館市田代赤十字奉仕団	S36. 6. 1	佐藤かよ子	9	0	0	175	175
男鹿市赤十字奉仕団	S40. 4. 1	吉田萬里子	7	14	0	269	269
湯沢市赤十字奉仕団	S29. 4. 1	北村ルミ子	2	5	0	123	123
鹿角市赤十字奉仕団	S27. 6. 1	阿部美幸	3	27	0	186	186
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37. 4. 1	畠山恵美子	2	0	0	16	16
由利本荘市岩城赤十字奉仕団	S48. 4. 1	鈴木とみ子	2	2	0	162	162

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S48.12. 1	藤 原 俊 子	0	0	0	55	55
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S38. 4.25	阿 部 タツ子	6	0	0	37	37
由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	S33. 5.31	小 松 こず江	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S33. 6.18	土 田 典 子	1	0	0	40	40
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S32. 4. 1	庄 司 和 子	0	0	14	13	27
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S45.10. 1	潟 保 博 子	3	3	0	83	83
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17. 3.22	小 玉 喜久子	3	57	0	1,107	1,107
大仙市大曲赤十字奉仕団	S43. 4. 1	森 川 クミ子	0	0	67	40	107
大仙市仙北赤十字奉仕団	S33. 5.15	佐 藤 あや子	1	63	0	150	150
大仙市中仙赤十字奉仕団	S30. 3.31	高 橋 トモ子	6	0	0	359	359
大仙市太田赤十字奉仕団	S30. 3.30	高 橋 千恵子	3	0	936	459	1,395
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S37. 4. 1	寺 田 要 子	9	183	16	156	172
大仙市神岡赤十字奉仕団	S34. 4. 1	齊 藤 レ ッ	0	0	0	20	20
大仙市協和赤十字奉仕団	S33. 8. 2	佐 藤 けい子	1	0	3	121	124
大仙市南外赤十字奉仕団	S45. 4. 1	高 橋 姫 子	1	42	12	69	81
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S26. 5. 1	中 嶋 洋 子	8	0	0	780	780
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S37. 4. 1	小 林 節 子	26	26	0	364	364
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S33.12. 2	中 村 千代子	16	75	0	203	203
北秋田市合川赤十字奉仕団	S30. 4. 1	福 岡 史 恵	13	83	0	270	270
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S62. 6. 2	白 瀬 美弥子	0	0	0	18	18
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S62.11.27	村 上 和 美	0	0	0	93	93
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S53. 6. 1	阿 曾 綾 子	0	0	0	14	14
仙北市角館町赤十字奉仕団	S32. 4. 1	赤 川 和 子	4	173	59	121	180
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S33. 4. 1	佐 藤 リ ヨ	3	0	31	93	124
仙北市西木町赤十字奉仕団	S33. 4.25	門 脇 トキヨ	1	0	0	32	32
小坂町赤十字奉仕団	S32. 4. 1	小笠原 シゲ子	1	4	1	14	15
上小阿仁村赤十字奉仕団	S23. 4. 1	伊 藤 明 美	18	20	23	362	385
藤里町赤十字奉仕団	S23. 4. 1	淡 路 高 江	4	0	0	240	240
三種町琴丘赤十字奉仕団	S55. 3.23	鎌 田 まさ子	0	0	37	129	166

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
三種町山本赤十字奉仕団	S52. 3.14	伊 藤 ツヤ子	1	107	7	117	124
三種町八竜赤十字奉仕団	S34. 4. 1	堀 田 キミ子	5	7	0	64	64
八峰町八森赤十字奉仕団	S48. 5. 1	岡 田 正 子	3	0	0	102	102
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43. 4. 1	武 田 えみ子	0	0	0	46	46
五城目町赤十字奉仕団	S23. 4.26	小 野 サダ子	3	3	0	66	66
八郎潟町赤十字奉仕団	S45. 7. 1	佐 藤 操	0	0	0	59	59
井川町赤十字奉仕団	S30. 2. 1	伊 藤 律 子	18	0	0	276	276
大潟村赤十字奉仕団	S44.11. 1	松 崎 信 子	1	6	0	42	42
美郷町赤十字奉仕団	H16.11. 1	森 元 博 美	3	120	112	271	383
羽後町赤十字奉仕団	S33. 9. 1	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33. 7.30	鈴 木 キミコ	16	89	309	320	629
計	53 団		274	1,275	2,015	12,900	14,915

(2) 青年赤十字奉仕団

(令和3年3月31日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S38. 4. 1	三 浦 泰 輔	佐々木 恵 子	8	11	19
日赤秋田看護大・短大学生赤十字奉仕団	H 8.11.29	伊 藤 一 愛		3	61	64
ノースアジア大学厚生委員会学生赤十字奉仕団	H13. 4.26	佐々木 優 衣		26	4	30
秋 田 県 立 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H18. 6. 1	土 門 沙 綺	田 口 世 人	5	26	31
秋 田 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H27. 4.26	佐々木 大 樹		16	10	26
計	5 団			58	112	170

(3) 特殊赤十字奉仕団

(令和3年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	副委員長氏名	団員数(人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S41.11.1	鈴木敦子	吉田圭子	1	5	6
秋田県赤十字芸能奉仕団	S42.5.4	小野敏実都	中村久夫 石塚喜奈 藤間一寿綾	9	54	63
秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	S46.12.19	石川和男	相沢喜弥	26	2	28
秋田県赤十字水上安全法奉仕団	S53.6.10	三森幹男	銭谷郁雄 大塚貴代	17	5	22
秋田県赤十字救急法奉仕団	S60.6.28	田口昇	佐々木清志 長内昭健 竹内健司	33	24	57
秋田県赤十字災害救護奉仕団	H11.8.28	八代千春	竹内健司 高橋邦明	8	2	10
秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	H15.4.1	眞井田恭雄	柴田正臣 伊藤藤朋 佐藤勲夫	104	20	124
計		7 団		198	112	310

2. 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団中央委員会 オンライン形式

期 日 12月3日
 会 場 日赤秋田県支部
 出席者 支部委員会委員長 小玉 喜久子
 支部職員 稲岡 一枝

(2) 赤十字ボランティア・リーダー養成研修会 オンライン形式

期 日 1月16日
 会 場 日赤秋田県支部
 出席者 救急法奉仕団委員長 田口 昇

(3) 地域包括ケア事業担当者を対象とした Web 勉強会

期 日 1月28日
 会 場 日赤秋田県支部
 出席者 支部職員 稲岡 一枝

(4) 赤十字ボランティア養成研修ガイドブック勉強会 オンライン形式

期 日 2月5日・12日・19日
会 場 日赤秋田県支部
出席者 支部指導講師 佐藤 勇一（※佐藤氏は在宅で参加）
支部職員 菊地 雄大

(5) 赤十字奉仕団支部委員会正副委員長会議

期 日 3月8日
会 場 日本秋田県支部
出席者 支部委員会委員長 小玉 喜久子
支部委員会副委員長 中嶋 洋子
高橋 トモ子
八代 千春

(6) ボランティア活動充実に向けた研究会 オンライン形式

期 日 3月10日
会 場 日本秋田県支部
出席者 救急法奉仕団委員長 田口 昇
支部職員 菊地 雄大

※新型コロナウイルスの感染拡大のため、安全確保観点から中止

- 赤十字奉仕団委員長会議
- 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

3. 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア. 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団はそれぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

- ・赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕
- ・献血推進事業に関する奉仕
- ・災害救護業務に関する奉仕
- ・社会福祉施設への訪問
- ・地域高齢者支援に関する奉仕
- ・その他社会福祉に関する奉仕

イ. その他特徴ある活動

医療施設への奉仕

- 1) 期 日 8月4日
会 場 秋田赤十字病院
出 席 者 秋田赤十字奉仕団 3人
内 容 手作りアームカバー30枚を作成し、秋田赤十字病院に贈呈
※「アームカバーの作り方」収録DVD等を県内地域奉仕団委員長に配布。また日赤秋田県支部HPにおいて公開。
- 2) 期 日 9月11日
会 場 秋田赤十字病院
出 席 者 秋田赤十字奉仕団 3人
内 容 子供向けDVD 5本、秋田赤十字病院に贈呈

ウ. 施設見学等

- 期 日 10月6日
会 場 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学
出 席 者 由利本荘市由利赤十字奉仕団 22人
内 容 「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護婦の証言」DVD視聴
「一对の額」「従軍看護婦遺影」見学

※新型コロナウイルスの感染拡大のため、安全確保の観点から中止

- 秋田県赤十字奉仕団北秋田地区大会
- 日赤大仙市地区研修会（大船渡市赤十字奉仕団との交流会）
- 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 青年奉仕団第1ブロック協議会への参加

期 日 5月21日 ※新型コロナウイルス感染症のため文書審議

イ. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「被災地での被災者支援活動」

新型コロナウイルス感染症のため中止

ウ. 団員研修会

新型コロナウイルス感染症のため中止

エ. 青年奉仕団第1ブロック協議会統一キャンペーン「楽しく学ぼう赤十字」

期 日 令和3年2月28日(日)

実施方法 ZOOMを使用したWeb会議方式

参加者 1名

オ. その他

- ・赤十字運動月間イベントへの参加 ※新型コロナウイルス感染症のため中止
- ・秋田赤十字乳児院でのボランティア活動 ※新型コロナウイルス感染症のため中止
- ・海外たすけあい街頭募金活動への参加 ※新型コロナウイルス感染症のため中止
- ・献血への呼びかけ活動

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳、弱視の方のためには複写し、秋田県視覚障害者福祉協会を通じて配布した。(2回発行)

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

ウ. 赤十字キッズタウン2020

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

エ. 青年奉仕団研修会点字講習

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

オ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

カ. ABS ラジオ番組への出演

期 日 5月13日 ※5月24日(日)放送

出席者 委員長 鈴木 敦子、副委員長 吉田 圭子

内 容 「まめだすトーク」に出演し、奉仕団活動状況のPR

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

※新型コロナウイルス感染症防止の観点から、開催中止とした。

イ. 第53回愛の芸能祭

※新型コロナウイルス感染症防止の観点から、開催中止とした。

ウ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

※新型コロナウイルス感染症防止の観点から、開催中止とした。

エ. 表彰式 (団員研修会を兼ねる)

期 日 12月23日

会 場 秋田県社会福祉会館

内 容 有功章等受章者への表彰贈呈

「別れの乳房 97歳赤十字従軍看護師の証言」DVD 視聴

参加者 25人

オ. 県内各地からの要請に応じて例年実施している福祉関連等の諸行事におけるアトラクションは、新型コロナウイルス感染症防止の観点から実施しないこととした。

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア. 団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ. 他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を以下のとおり実施した。

期 日	時 間	通 信 先 奉 仕 団 名
7月11日	9：00～11：00	北海道無線赤十字奉仕団協議会
10月25日	9：30～10：30	長岡アマチュア無線赤十字奉仕団
10月25日	13：00～15：00	兵庫県無線赤十字奉仕団
11月1日	13：00～15：00	和歌山県赤十字特別救護奉仕団
12月5日	9：30～11：00	栃木県支部アマチュア無線奉仕団
12月20日	10：00～11：00	愛知県赤十字無線奉仕団
1月9日	9：30～12：00	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
2月6日	13：00～14：00	群馬県赤十字無線字奉仕団
計		8回・7日

4) 水上安全法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

ウ. 総会の実施（文書審議）

期 日 4月23日

エ. 赤十字キッズタウン2020

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

オ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

カ. 役員会の実施

期 日 3月6日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参加者 5人

キ. その他

小学生に対する着衣泳指導によるボランティア活動

5) 救急法奉仕団

ア. 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し講習会を企画した。

○中央地区

期 日 12月5日
会 場 秋田県社会福祉会館
内 容 基礎講習
受 講 者 15人

イ. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

ウ. 総会の実施（文書審議）

期 日 4月23日

エ. 地区研修会

○中央地区

期 日 12月5日
会 場 秋田県社会福祉会館 日赤研修室
内 容 基礎講習の暫定プログラム実技確認等
参 加 者 5人

オ. 赤十字キッズタウン2020

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

カ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

キ. 役員会の実施

期 日 3月6日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 12人

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

イ. 赤十字運動月間イベント「赤十字キッズタウン2020」への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

ウ. 8月8日から9日までの秋田県大雨被害における防災ボランティア活動

- ・ 8月8日 警報発令時から各団員が情報収集を開始
- ・ 同日 八代委員長が日赤秋田県支部に参集の上、秋田市河辺に開設された避難所状況調査と救援物資搬送の業務を支援

エ. 秋田県総合防災訓練への参加

期 日 8月30日

会 場 由利本荘市

参加者 2人

内 容 ・救護班による救護所運営訓練における支援

オ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

カ. 令和3年1月7日からの秋田県大雪災害における防災ボランティア活動

- ・ 1月7日 警報発令時から各団員が情報収集を開始
- ・ 1月8日 竹内副委員長が日赤秋田県支部に参集の上、横手市及び湯沢市に開設された避難所状況調査と救援物資搬送の業務を支援

キ. その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア. 赤十字奉仕団委員長会議への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

イ. 賛助奉仕団総会

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

ウ. 全国賛助奉仕団協議会総会

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

エ. 賛助奉仕団研修会

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

オ. 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

カ. その他

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年1月21日	三戸 俊彦	佐藤 安隆	鳥 トキエ

2) 会員数

個 人	法 人	計
168人	65社	233人・社

3) 主な活動

ア. 役員会

4月23日 ※新型コロナウイルスによる感染症のため文書審議

イ. 総会

新型コロナウイルスによる感染症のため開催見送り

ウ. 公開講演会

新型コロナウイルスによる感染症のため開催見送り

エ. 全国赤十字大会参会

令和2年全国赤十字大会中止のため参会なし

オ. 秋田県支部事業への助成

カ. 青少年赤十字活動の推進

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター中止のため
参加者へ参加記念写真の寄贈なし

キ. 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への参加

9月29日 ※新型コロナウイルスによる感染症のため文書審議

ク. 新会員勧誘

令和2年1月～12月までの有功章受章者個人へ入会案内を送付
令和2年度中に有功章受章法人26社へ訪問

入会 個人 9人

ケ. 会報「有功秋田」の発行

第69号9月発行

コ. 会員の慶弔

サ. 記念事業資金積立

9. 青少年赤十字（JRC）

1. 組織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

職名	氏名	勤務校名	電話番号
会長	眞壁 聡子	秋田南高等学校	018-833-7431
副会長	小林 寿	大館東中学校	0186-42-2835
同	伊藤 さつき	高清水小学校	018-845-0831
同	嵯峨 康弘	大曲中学校	0187-63-2222

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地区名	会長名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	小林 寿	大館東中学校	0186-42-2835
能代・山本	藤田 卓也	淳城西小学校	0185-52-2237
男鹿・潟上・南秋	加藤 牧子	弘戸小学校	0185-46-2510
秋田 市	伊藤 さつき	高清水小学校	018-845-0831
由利本荘・にかほ	阿部 潜	由利小学校	0184-32-8171
大仙・仙北	嵯峨 康弘	大曲中学校	0187-63-2222
横手 市	北條 保	醍醐小学校	0182-25-4204
湯沢・雄勝	近野 良浩	湯沢東小学校	0183-72-5125

秋田県青少年赤十字指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2. 登録状況

（令和3年3月31日現在）

区分	学校数	メンバー数(人)
幼稚園・保育園	41 園	3,490
小学校	106 校	20,490
中学校	52 校	9,405
高校・支援・各種	28 校	1,298
計	227 校(園)	34,683

3. 青少年赤十字加盟校（園）一覧

（令和3年3月31日現在）

校種 地区	幼稚園・保育園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	計
鹿 角 大 館 北秋田		・城南・有浦・釈迦内 ・川口・上川沿・花岡 ・南・早口・鷹巣東 ・鷹巣南・米内沢・合川	・成章・東	・十和田 ・秋田北鷹 ・大館桂桜	17園・校 2,500名
		12校 2,053名	2校 413名	3校 34名	
能 代 山 本	・愛慈幼	・淳城西・淳城南・第四 ・第五・向能代・浅内 ・二ツ井・琴丘・下岩川 ・森岳・金岡・浜口・湖北 ・八森・峰浜・藤里	・能代第一・能代第二 ・能代東・東雲・能代南 ・二ツ井 ・琴丘・山本・八竜 ・八峰・藤里	・能代松陽 ・能代工業 ・能代西 ・能代	32園・校 4,327名
	1園 69名	16校 2,570名	11校 1,615名	4校 73名	
男 鹿 潟 上 南秋田	・(認)追分幼	・脇本第一・船越・弘戸 ・美里・飯田川・天王 ・追分・五城目・八郎潟 ・大潟	・男鹿南・男鹿北 ・男鹿東・潟西 ・八郎潟	・秋田西	17園・校 2,370名
	1園 68名	10校 1,706名	5校 583名	1校 13名	
秋 田	・飯島幼・勝平保 ・こひつじ保 ・第一ルンビニ保 ・あきた中央こども園 ・サン・パティオおお まちこども園 ・(認)こまどり幼	・高清水・日新・外旭川 ・下新城・東・桜・戸島	・秋田南 ・秋田南高校中等部	・秋田北 ・聖霊女短大付 ・秋田令和 ・秋田工業・金足農業 ・視覚支援学校 ・秋田きらり支援 ・秋田クラーク高等学院	24園・校 4,744名
	7園 656名	7校 3,262名	2校 556名	8校 270名	
本 荘 由 利	・本荘保	・小友・石沢・由利・西目	・矢島・西目・東由利		8園・校 1,077名
	1園 144名	4校 636名	3校 297名		
大 仙 仙 北	・(認)なかせんワイワイらんど ・(認)せんぼくちびっころんど ・(認)おおたわんぱくランド ・(認)すすくだけっこ園 ・(認)西仙あおぞらこども園 ・大曲駅前こども園 ・仙南すこやか園 ・六郷わくわく園 ・千畑なかよし園 ・はなだて保・大曲東保 ・大曲南保・大曲北保 ・大曲中央こども園 ・大曲乳児保・大川西根保 ・角間川保・藤木保・内小友保 ・みつば保・中仙東保 ・角館西保・四ツ屋こども園	・大曲・東大曲・花館 ・内小友・大川西根・藤木 ・四ツ屋・角間川・神岡 ・西仙北・清水・豊川 ・豊岡・中仙・協和 ・太田東・太田南・太田北 ・南外・高梨・横堀 ・角館・白岩・生保内 ・神代・西明寺・松木内 ・六郷・千畑・仙南	・大曲・大曲西・大曲南 ・平和・西仙北・中仙 ・豊成・協和・太田 ・南外・仙北・角館 ・生保内・神代・西明寺 ・松木内・美郷	・大曲農業 ・大曲農業太田分校 ・大曲工業 ・角館 ・秋田修英 ・大曲支援	76園・校 10,052名
	23園 1,957名	30校 4,982名	17校 2,837名	6校 276名	
横 手	・(認)こひつじ ・(認)上宮第一幼 ・(認)上宮第二幼 ・(認)土屋幼 ・醍醐保 ・むつみ乳児保	・横手南・朝倉・旭・栄 ・横手北・増田・浅舞 ・吉田・醍醐・雄物川 ・大森・十文字第一 ・十文字第二・植田・山内 ・大雄	・横手北・横手南 ・横手清陵学院 ・増田・平鹿 ・横手明峰・十文字	・横手 ・横手城南 ・雄物川 ・横手支援	33園・校 6,647人
	6園 366名	16校 3,614名	7校 2,123名	4校 544名	
湯 沢 雄 勝	・双葉幼 ・湯沢よつばこども園	・湯沢東・湯沢西・山田 ・川連・雄勝・皆瀬 ・西馬音内・羽後明成 ・高瀬・三輪・須川	・湯沢北・湯沢南・山田 ・雄勝・羽後	・湯沢 ・稲川支援	20園・校 2,966名
	2園 230名	11校 1,667名	5校 981名	2校 88名	
計	41園	106校	52校	28校	227園・校
	3,490名	20,490名	9,405名	1,298名	34,683名

4. 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会（第1回）

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

(2) 指導者研修会

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

(3) リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

(4) 全国指導者協議会総会

期 日 9月11日（金）14：00～16：00（※短縮、Web会議）

会 場 秋田県社会福祉会館

出席者 指導者協議会会長 眞壁 聡子（秋田県立秋田南高等学校校長）

(5) リーダーシップ・トレーニング・センター

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

(6) 一日リーダーシップ・トレーニング・センター

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

(7) 第1ブロック指導者研究会

期 日 11月16日（月）～11月17日（火）

会 場 サンセール盛岡（盛岡市志家1-10）

対 象 教員、支部職員

(8) 指導者協議会理事会（第2回）

期 日 11月24日（火）

会 場 秋田県社会福祉会館

出席者 会長・理事（県内各地区代表）8人、支部職員3人

(9) 青少年赤十字研究会（指導主事対象）

期 日 令和3年1月8日（金）14：00～16：00

会 場 日本赤十字社 本社

参加者 秋田県教育庁中央教育事務所由利出張所 指導主事 齊藤智行

5. 青少年赤十字研究推進校

- 青少年赤十字研究推進校の委嘱

学 校 名	秋田市立戸島小学校	大仙市立太田中学校
委嘱年度	令和元年～2年度	令和2～令和3年度
研 究 テ ー マ	「もっとすてきな自分に～やさしく かしこく たくましく～」を目指す 子どもの育成	「互いを認め合い 広い視野で考え 地域から行動する生徒の育成」～ 「自立」・「対話」・「貢献」～

6. 高校青少年赤十字協議会

- (1) 高校協議会総会（※中止、役員会のみ開催）

期 日 6月21日（日） 13：00～16：00

会 場 秋田県社会福祉会館

対 象 加盟各高校代表者

- (2) 高校協議会研修会（幼児安全法講習会）

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

- (3) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催中止とした。

7. 機関誌の発行

「青少年赤十字秋田第39号」令和3年3月31日発行

10. 広報・普及活動

1. 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数（部）	配 布 先
赤 十 字 N E W S	29,600	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校 他
毎 戸 チ ラ シ	369,000	全世帯
会 員 募 集 の 手 引	16,000	各地区・分区の奉仕者
パンフレット（要覧）	30,000	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙「赤十字秋田」	53,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員、奉仕団員 青少年赤十字加盟校、献血者 他

2. 報道機関等を通じた広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載12社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5／1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋 田 テ レ ビ (株)	5～7月に本社作成の運動月間用スポット及び支部で作成した広報用 スポットを使用
(株) 秋 田 放 送	
秋 田 朝 日 放 送 (株)	

3. イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設がタイアップし次のイベントを実施した。

- (1) 赤十字キッズタウン2020 ～赤十字のお仕事を体験しよう！～

※新型コロナウイルス感染拡大のため、安全確保の観点から中止

- (2) レッドライトアッププロジェクト2020

場 所 ポートタワーセリオン

期 日 5月1日～5月31日

内 容 県民の皆さまに赤十字を知っていただくとともに「人道」への理解を
深めていただくことを目的に、ランドマークとなる施設等に参加いた
だき、赤くライトアップした。

(3) 「別れの乳房～97歳赤十字従軍看護婦の証言」上映会

会 場	上映日	鑑 賞 者	人数 (人)
北秋田市鷹巣前野自治会館	11月22日	一般	53

4. インターネットの活用

インターネットを活用し、ホームページ上で赤十字活動の周知に努めた。

ホームページアドレス等については次のとおり

【ホームページアドレス等】

ホームページアドレス	http://www.akita.jrc.or.jp
	令和3年4月より変更 https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	<ul style="list-style-type: none">・行事紹介・赤十字講習の受付・赤十字マークについて・事業紹介・赤十字の歴史・義援金（受付状況）等

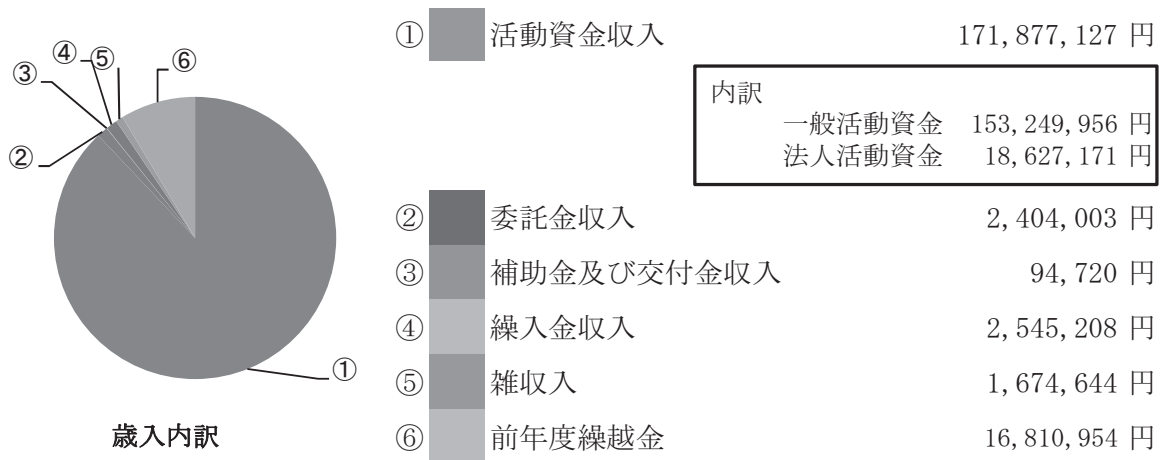
【YouTube】

U R L	https://www.youtube.com/channel/UCko3xsoA52A4Sm086QNf5Mg
動画の内容	<ul style="list-style-type: none">・「アームカバー」の作り方・災害への備え（地震・津波編）

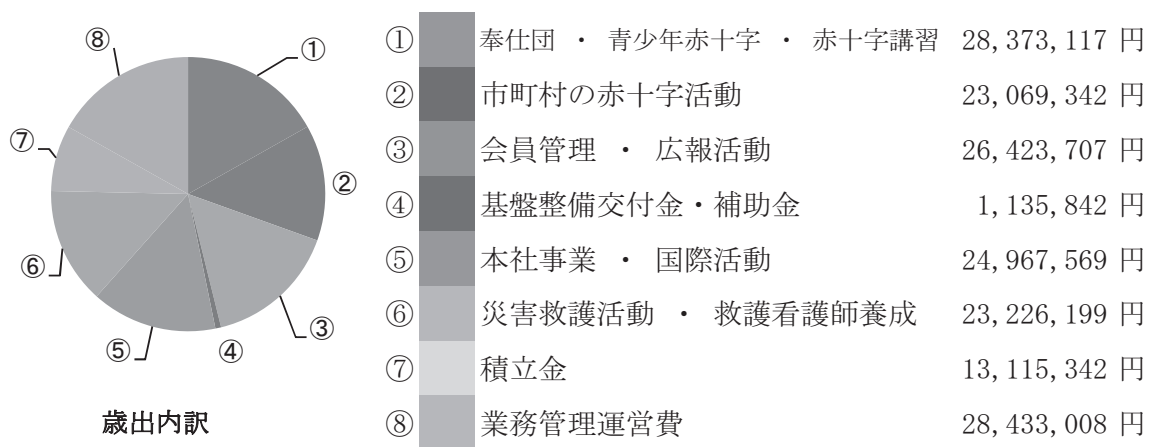
令和2年度日本赤十字社秋田県支部
歳入歳出決算概要

歳入額	195,406,656円
歳出額	168,744,126円
収支残	26,662,530円

歳入 195,406,656円



歳出 168,744,126円



11. 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1 概 要

令和2年度は、「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努め、また、赤十字の使命である災害医療救護に取り組んで、地域の信頼を得る」を指針とし、施策に、1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療構想に基づく方向性の検討、を掲げた。しかし、当院のみならず、日本中、世界中が新型コロナウイルスに振り回され、収束も見えなかった。本ウイルス感染は、無症状のものから軽症、中等症、重症と個人差がある。当院は、酸素吸入が必要な中等症者から人工呼吸器管理が必要な重症者を治療する施設として位置付けて貰い、実際に他院から重症化した患者を受け入れて治療にあたった。

上記施策ごとの評価は、

1) 安心して安全な、質の高い医療が提供されたと考えられる。ドクターヘリ事業は、要請件数が471件、出動件数が288件であり、件数としては前年度に及ばなかった。

2) 災害医療救護としての救護班派遣は幸いにもなかった。しかし、本年度も災害を想定した多数傷病者受入訓練を、多くの病院職員が参加して実施した。

3) コロナ禍により外来および入院患者数がともに減少した。しかし、コロナ関係の補助金等があったことや支出管理に努めた結果、医業収支、経常収支、病院収支とも黒字であった。

4) 病院機能として高度急性期・急性期の医療を目指し、実行している。また、地域医療支援病院として、地域の医療機関から前年比221人減の6,306人の紹介を受け（紹介率66.3%）、その後、逆紹介した（逆紹介率90.4%）。

2 医療活動

医師数は100名を超えるが診療科による偏在があり、県内外から応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科では、県内医療機関から要請があれば応じるようにしており、令和2年度は27箇所の医療機関へ医師を派遣した。

許可病床数は480床で、一般医療が344床、県の委託を受けて運営する政策医療が136床（救命救急50床、周産期56床、神経病30床）である。標榜科は、本年度新たに小児外科を開設して31科となった。病院附属の健診施設として秋田市中通地区にあきた健康管理センターを有している。

令和2年度の入院患者数は延べ139,127人と前年度に比べて4,526人減少した。一日平均入院患者数も前年度の392.5人から381.2人に減少した。病床利用率は86.8%（前年度比2.6pt減）だった。平均在院日数は12.7日と0.2日延長した。外来患者数は延べ184,563人で前年度より3,393人減少した。患者の地域別割合では、秋田市が外来、入院とも約4分の3であり、その他の地域は前年度と変わりなかった。

救急患者数は12,765人で前年度より3,297人減少した。救急からの入院は前年度より205人減少した。救急車による搬送数は前年度の3,032件から2,899件に減少した。

分娩数は740件で前年度より55件減少した。手術室で行われた手術件数は3,693件で前年度より70件減少したが、全身麻酔手術数は2,177件で52件増加した。

人間ドックなどの健診事業について、本院では8,537人、あきた健康管理センターでは10,745人、併せて19,282人（前年度比2,770人減）の健診を行った。

診療稼動額は、入院が94億5千万円（前年度比1億8千万円の増）、外来が35億4千万円（前年度比2億9千万円の減）だった。診療単価は、入院67,949円（3,349円の増）、外来19,212円（1,218円の減）だった。病院収支としては、収入が151億8千万円（前年度比1千万円の減）、支出が141億3千万円（前年度比1億9千万円の減）であり、10億6千万円の黒字となった。令和3年度も引き続き病院収支を黒字にしなければならない。

3. 令和2年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入院	1,554	3,043	2,218	7,070	11,651	11,172
外来	2,673	14,289	10,014	4,713	9,271	10,437

	肝胆膵	消化管	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科
入院	8,530	5,053	9,008	2,182	0	1,688
外来	7,336	9,883	7,737	1,556	7,881	5,407

	新生児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
入院	5,391	14,828	2,421	1,771	2	34
外来	424	9,376	8,023	1,734	409	145

	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科
入院	19,687	1,758	4,586	2,698	4,893	8,448
外来	14,904	5,589	2,471	6,757	11,791	7,300

	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	全科合計
入院	3,501	203	2,490	0	3,247	139,127
外来	8,615	3,397	11,306	867	258	184,563

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来院方法			来院時間		
		救急車	へり	その他	時間内	時間外	深夜(再掲)
交通事故	317	164	16	137	102	215	23
急病	9,823	2,155	38	7,630	2,909	6,914	1,360
その他	2,625	580	38	2,007	849	1,776	224
計	12,765	2,899	92	9,774	3,860	8,905	1,607

	患者の状況					
	帰宅	一般外来	入院	転送	死亡	
交通事故	268	0	44	3	2	
急病	6,813	61	2,861	19	69	
その他	2,049	8	559	2	7	
計	9,130	69	3,464	24	78	

(3) 分娩、手術関係

	件数	備考
分娩	740	
出生	763	
手術	3,693	手術室におけるもの
死亡	487	外来死亡78件含む
剖検	11	剖検率 2.7%

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	4,917	1,412	258	1,700	17	169	64

	特定保健指導	ストレスドック	フォローアップ健診	各種教室等	その他
件数	420	10	0	0	1

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救護
件数	823	423	22	1,836	0

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

地域別	外 来		入 院		合 計
	実患者数	比 率	実患者数	比 率	
秋 田 市	23,931	74.24%	5,489	73.39%	29,420
鹿角市・郡	31	0.10%	6	0.08%	37
大館・北秋	555	1.72%	116	1.55%	671
能代・山本	578	1.79%	134	1.79%	712
男鹿・南秋	1,928	5.98%	406	5.43%	2,334
由利・本荘	1,030	3.20%	226	3.02%	1,256
大曲・仙北	3,118	9.67%	733	9.80%	3,851
横手・平鹿	354	1.10%	93	1.24%	447
湯沢・雄勝	231	0.72%	46	0.62%	277
県 外	477	1.48%	230	3.08%	707
総 合 計	32,233	100.00%	7,479	100.00%	39,712

秋田市内訳

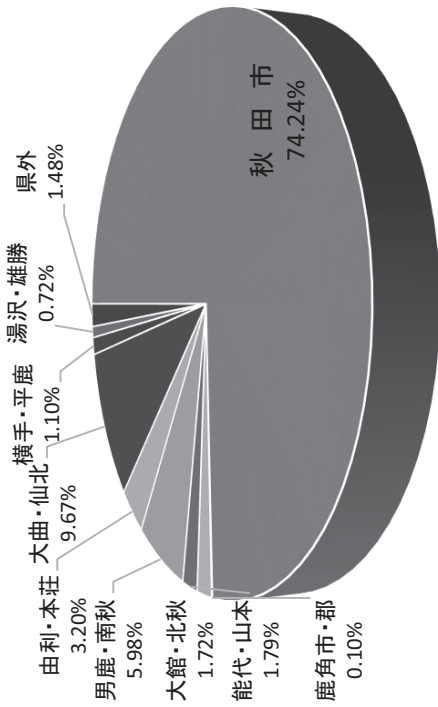
地域別	外 来		入 院		合 計
	実患者数	比 率	実患者数	比 率	
中 央 地 区	3,349	13.99%	738	13.45%	4,087
東 部 地 区	5,877	24.56%	1,280	23.32%	7,157
西 部 地 区	2,090	8.73%	484	8.82%	2,574
南 部 地 区	7,842	32.77%	1,766	32.17%	9,608
北 部 地 区	1,879	7.85%	389	7.09%	2,268
河 辺 ・ 雄 和	2,894	12.09%	832	15.16%	3,726
秋 田 市 合 計	23,931	100.00%	5,489	100.00%	29,420

(6) 附属あきた健康管理センターの活動

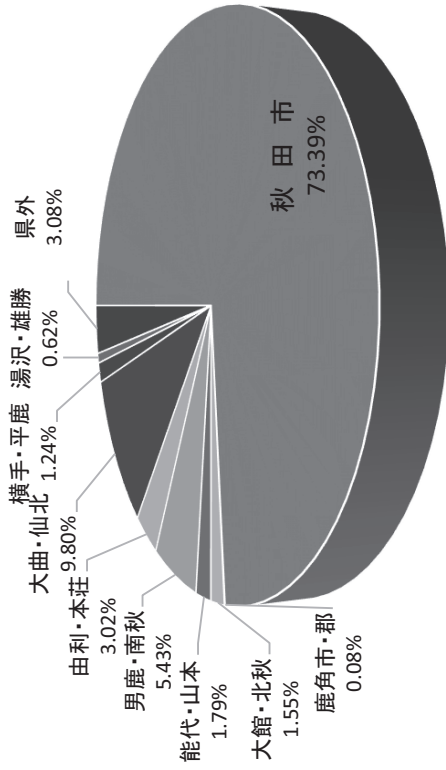
	外来ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診
件数	2,354	1,747	6,184	336	124	0

全患者内訳

外来患者

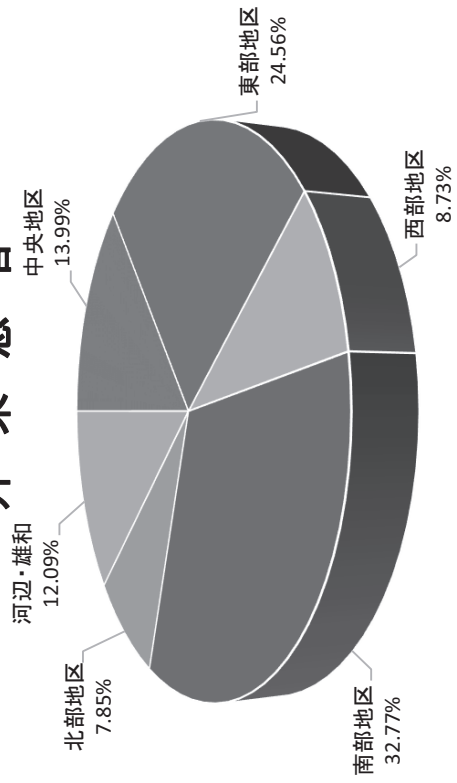


入院患者

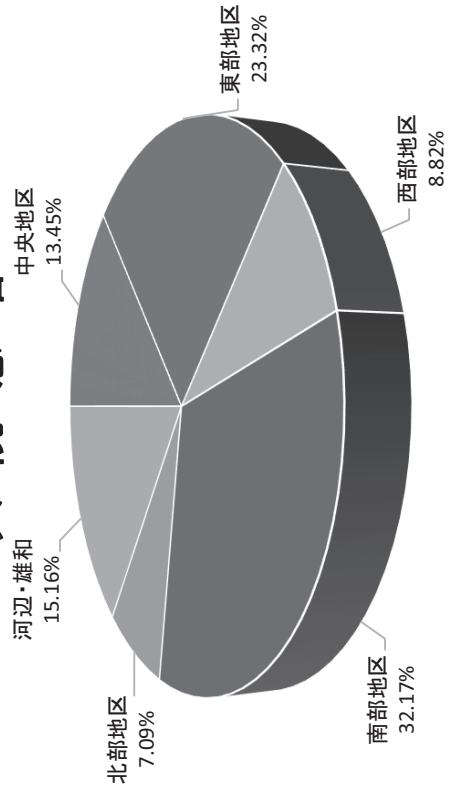


秋田市内訳

外来患者



入院患者



12. 血液事業

(秋田県赤十字血液センター)

1. 概要

令和2年度は、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により、採血計画の変更や感染防止対策の徹底等、様々な対応を迫られた。

また、近年まれにみる大雪に見舞われた地域が続出し、献血バスの運行等に影響があった。

(1) 献血推進と実績について

- ア 令和2年度の献血実績は、200mL 献血：931人、400mL 献血：25,680人、成分献血：15,402人、合計42,013人となり、事業計画を3,238人上回った。(進捗率108.4%)
- イ 新型コロナウイルスの感染拡大により、大企業の一部では献血バスの乗り入れが出来ない会場が発生したため、春先は献血者が減少したが、「献血は不要不急ではない」という意識が県民に浸透し、献血会場での検温や手指消毒の徹底とシールドの設置等の感染防止対策と相まって、年間を通じて概ね順調に献血者を確保することが出来た。
- ウ 自衛隊が災害派遣された県南部を中心に献血中止会場が発生したが、保健所や市町村の協力により代替会場を確保したため、大きな影響は受けなかった。
- エ 新しい指標である予約率については、固定施設55.2%、献血バス11.2%、合計34.1%の実績となり、目標の25%を大きく超えて全国上位であった。

(2) 輸血用血液製剤の供給について

- ア 医療機関への血液製剤の供給は、赤血球製剤：47,585単位、血漿製剤：12,019単位、血小板製剤：73,430単位、合計133,034単位となり、計画を7,896単位下回った。(進捗率94.4%) また、大館鹿角地域の医療機関には、青森県赤十字血液センター弘前出張所から血液製剤を供給した。(赤血球製剤：4,320単位、血漿製剤：302単位、血小板製剤：6,170単位、合計10,792単位)
- イ 2つの新しい取り組みのうち、Web 受注率については令和3年3月時点で47.6%となり、計画の20%を上回った。
- ウ もう1つの取り組みである定時配送率については、緊急持ち出し血の運用を変更した結果、急激に上昇し、73.9%となったが、目標の80%は僅かに下回った。
- エ コロナ禍が続く状況下では参集会議の開催が困難なため、試みとしてリモートによる医療機関を対象とした Web 会議を開催し、2月に開催した輸血管理実務担当者会議には80名を超える参加があった。コロナ禍が去っても、有用な情報交換手法として継続する予定としている。

(3) 技術的な変更点等

- ア 令和2年10月1日から、献血バスにおける採血前検査が指先穿刺法によるヘモグロビン測定に変更となった。シリンジを用いた従来の検査に比べて、全国的に採血副作用が減少した。
- イ 令和2年9月1日から採血基準が変更となり、新たに血圧、脈拍、体温の基準が設定された。
- ウ 検診医業務の軽減と献血者とのコミュニケーションの充実を図るため、認定インタビューャー制度が導入され、当センター職員2名が認定を受けた。

2. 令和元年度実績

(1) 令和2年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200 mL 献 血	732	931	199	127.2%
400 mL 献 血	24,567	25,680	1,113	104.5%
成 分 献 血	13,476	15,402	1,926	114.3%
合 計	38,775	42,013	3,238	108.4%
献 血 量 (L)	17,157.0	16,067.6	△ 1,089.4	93.7%

(2) 令和2年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	令和2年度実績	令和元年度実績	増 減	前 年 比
200 mL 献 血	931	1,062	△ 131	87.7%
400 mL 献 血	25,680	25,185	495	102.0%
成 分 献 血	15,402	12,179	3,223	126.5%
合 計	42,013	38,426	3,587	109.3%
献 血 量 (L)	16,067.6	14,459.7	1,607.9	111.1%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分	月												合計	比率	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
申込者数	総数	3,745	4,165	3,983	3,967	3,985	3,735	3,849	3,834	4,095	3,781	3,514	3,795	46,448	100.0%
	男	2,555	2,764	2,642	2,568	2,679	2,407	2,467	2,562	2,658	2,552	2,280	2,481	30,615	65.9%
	女	1,190	1,401	1,341	1,399	1,306	1,328	1,382	1,272	1,437	1,229	1,234	1,314	15,833	34.1%
献血者数	総数	3,377	3,814	3,574	3,587	3,630	3,335	3,415	3,421	3,711	3,437	3,251	3,461	42,013	90.5%
	男	2,418	2,651	2,513	2,448	2,579	2,289	2,316	2,422	2,543	2,442	2,200	2,380	29,201	62.9%
	女	959	1,163	1,061	1,139	1,051	1,046	1,099	999	1,168	995	1,051	1,081	12,812	27.6%
献血できなかった人数	総数	368	351	409	380	355	400	434	413	384	344	263	334	4,435	9.5%
	男	137	113	129	120	100	118	151	140	115	110	80	101	1,414	3.0%
	女	231	238	280	260	255	282	283	273	269	234	183	233	3,021	6.5%
内訳	総数	206	206	230	235	231	230	235	219	238	214	143	183	2,570	57.9%
	血色素不足	39	42	48	40	38	37	44	41	34	37	16	25	441	9.9%
	その他	167	164	182	195	193	193	191	178	204	177	127	158	2,129	48.0%
内訳	総数	162	145	179	145	124	170	199	194	146	130	120	151	1,865	42.1%
	男	98	71	81	80	62	81	107	99	81	73	64	76	973	21.9%
	女	64	74	98	65	62	89	92	95	65	57	56	75	892	20.1%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。献血者数は献血者数・献血できなかった人数の割合に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位：人)

項目	合計			全血献血			成分献血			献血量(L)						
	目標数	申込者数	献血者数 達成率	目標数	申込者数	献血者数 達成率	目標数	申込者数	献血者数	目標数	申込者数	献血者数	目標数	申込者数	献血量	達成率
保健所																
大館保健所	2,613	3,186	2,781	2,613	3,186	106.4%	2,613	3,186	49	2,732	2,781	106.4%	0	0	1,102.6	107.0%
北秋田保健所	915	1,062	935	915	1,062	102.2%	915	1,062	18	917	935	102.2%	0	0	370.4	102.8%
能代保健所	1,702	1,929	1,707	1,702	1,929	100.3%	1,702	1,929	25	1,682	1,707	100.3%	0	0	677.8	101.0%
秋田中央保健所	1,199	1,455	1,274	1,199	1,455	106.3%	1,199	1,455	13	1,261	1,274	106.3%	0	0	507.0	107.1%
由利本荘保健所	1,993	2,341	2,052	1,993	2,341	103.0%	1,993	2,341	77	1,975	2,052	103.0%	0	0	805.4	102.5%
大仙保健所	2,697	3,148	2,804	2,697	3,148	104.0%	2,697	3,148	69	2,735	2,804	104.0%	0	0	1,107.8	104.2%
横手保健所	2,200	2,787	2,438	2,200	2,787	110.8%	2,200	2,787	91	2,347	2,438	110.8%	0	0	957.0	110.4%
湯沢保健所	1,534	2,007	1,723	1,534	2,007	112.3%	1,534	2,007	71	1,652	1,723	112.3%	0	0	675.0	111.5%
秋田市保健所	23,922	28,533	26,299	23,922	28,533	109.9%	23,922	28,533	518	25,680	26,299	104.3%	13,476	16,562	11,300.2	87.3%
合計	38,775	46,448	42,013	38,775	46,448	108.4%	38,775	46,448	931	26,611	26,611	105.2%	13,476	16,562	17,157.0	93.7%

※秋田市保健所には、献血パークうるうふ、アトリオン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位：人)

年齢	献 血 者 数			男 性			女 性								
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率
16 ~ 19歳	763	884	282	1,929	4.6%	188	576	92	856	2.9%	575	308	190	1,073	8.4%
20 ~ 29歳	164	4,210	2,180	6,554	15.6%	10	2,976	1,227	4,213	14.4%	154	1,234	953	2,341	18.3%
30 ~ 39歳	3	4,820	2,752	7,575	18.0%	0	3,497	1,666	5,163	17.7%	3	1,323	1,086	2,412	18.8%
40 ~ 49歳	1	6,665	4,250	10,916	26.0%	0	4,936	2,963	7,899	27.1%	1	1,729	1,287	3,017	23.5%
50 ~ 59歳	0	6,474	4,110	10,584	25.2%	0	4,754	2,920	7,674	26.3%	0	1,720	1,190	2,910	22.7%
60 ~ 69歳	0	2,627	1,828	4,455	10.6%	0	1,930	1,466	3,396	11.6%	0	697	362	1,059	8.3%
計	931	25,680	15,402	42,013	100.0%	198	18,669	10,334	29,201	100.0%	733	7,011	5,068	12,812	100.0%

(6) 職業別・性別献血状況

(単位：人)

職業	献 血 者 数			男 性			女 性								
	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成 分 献 血	計	比 率
公 務 員	31	5,584	2,365	7,980	19.0%	6	4,723	2,056	6,785	23.2%	25	861	309	1,195	9.3%
会 社 員	73	13,772	7,701	21,546	51.3%	5	10,543	5,618	16,166	55.4%	68	3,229	2,083	5,380	42.0%
高 校 生	651	214	52	917	2.2%	170	142	18	330	1.1%	481	72	34	587	4.6%
大 学 生	108	724	720	1,552	3.7%	9	368	354	731	2.5%	99	356	366	821	6.4%
そ の 他	68	5,386	4,564	10,018	23.8%	8	2,893	2,288	5,189	17.8%	60	2,493	2,276	4,829	37.7%
計	931	25,680	15,402	42,013	100.0%	198	18,669	10,334	29,201	100.0%	733	7,011	5,068	12,812	100.0%

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況

(単位：本)

製剤名 \ 年 度	令和2年度	令和元年度	増 減
全 血 製 剤	0	0	0
赤 血 球 製 剤	47,585	48,273	△ 688
血 漿 製 剤	12,019	11,256	763
血 小 板 製 剤	73,430	80,155	△ 6,725
合 計	133,034	139,684	△ 6,650

(注)数値は200mL換算数である。

13. 乳児院の運営

(秋田赤十字乳児院)

1. 概要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。夜間等の緊急時における一時保護機能も有している。

主な入所理由は母の病気等によるものであるが、ここ数年の傾向として虐待を受けた子どもたちの入所が多くなっており、半数近くを被虐待児が占めている。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、令和2年度退所した措置児童14名のうち家庭復帰となった子どもは7名、里親家庭へ6名の子どもが委託された。

また、保護者の病気等により実親の元へ帰ることが出来ない子どもたちのために、里親制度の推進事業に力を注いでいる。令和2年度から秋田県よりフォスタリング機関（里親養育包括支援）事業を受託し活動している。里親制度普及促進事業では里親制度を広く知っていただくと共に、里親登録者組数の増加と里親委託率の向上のための動画を制作し公開した。また、秋田公立美術大学と共同で「里親制度普及促進ポスター展」を県内各地で開催し、新規開拓に繋げている。里親トレーニング事業は6組の里親を対象に実施し、里親支援専門相談員を中心に入所児童の里親委託を推進し、アフターケアとして家庭訪問やSNSを用いた継続的な支援を行っている。令和2年度の新規登録里親は17組だった。

さらに地域に必要とされる施設を目指しており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため多くの事業を中止せざるを得なかったが、子育て支援事業の充実や中・高生等の体験学習、日赤看護大生・保育士・栄養士の実習生、ボランティア等の受け入れも当院の特色と考え推進している。

2. 利用状況

(令和3年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位：人)

区分	入所人数			退所先及び退所人数				年度末在所人数(A-B)
	前年度からの入所数	新規入所数	計(A)	家庭	里親	施設(当院を含む)	計(B)	
措置	21	10	31	7	6	1	14	17
一時保護	4	17	21	18	0	2	20	1
計	25	27	52	25	6	3	34	18

(注) 一時保護から当院に措置となった児童数は3名である。但し、この人数は一時保護に含まない。

(2) 新規入所理由の状況

(単位：人)

区分	虐待	父母の疾病	未婚	その他	計
措置	5	2	2	1	10
一時保護	15	1	0	1	17
計	20	3	2	2	27

(3) 市町別在所状況

(単位：人)

能代市	男鹿市	秋田市	由利本荘市	大仙市	仙北市	横手市	美郷町	計
2	1	6	2	1	2	3	1	18

3. 過去5年間の利用状況

(単位：人)

内 訳 \ 年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
前年度からの入所	28	24	22	30	25
入 所	22	24	36	12	27
退 所	26	26	28	17	34
年 度 末 人 数	24	22	30	25	18

(註) 一時保護児童数を含む。

4. 子育て支援事業

事 業 名	利 用 状 況 等
電 話 相 談 8：30～23：00	40件 内容：基本的生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
デ イ ケ ア	中止（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため）
シ ョ ー ト ス テ イ	
プ レ マ マ サ ロ ン	
育児サークル「愛あいクラブ」	

5. 主な年間行事

行 事 名	期 日	場 所	対 象 児
こどもの日	5月5日	院 内	全 員
七夕まつり	7月7日	院 内	全 員
秋 祭 り	9月25日	院 内	全 員
お 月 見	9月30日	院 内	全 員
運 動 会	10月23日	院 内	全 員
ハロウィン	10月30日	院 内	全 員
クリスマス会	12月25日	院 内	全 員
お 正 月	1月1日	院 内	全 員
節 分	2月2日	院 内	全 員
ひなまつり	3月3日	院 内	全 員

8. 幼児安全法講習会の開催

開催日	受講者数(人)	対 象
10月25日	14	一 般
12月6日	7	一 般
12月12日	6	一 般
12月20日	4	一 般
1月10日	5	一 般
1月16日	6	一 般
1月17日	5	一 般
1月23日	5	一 般
合 計	52	

6. ボランティアの受入れ

種 別	受 入 れ 状 況
個 人	0人
団 体	2団体（延人数55人）

7. 苦情件数

件 数
1件

14. 日本赤十字社秋田県支部現勢

(令和3年3月31日現在)

1. 沿革

明治20年(1887)11月3日…日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年(1896)7月1日…日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年(1952)10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2. 会員数(含:協力会員) 個人 163,645人
法人 678社

3. 評議員 29人

4. 役員

支部長 佐竹 敬久
副支部長 堀井 啓一・穂積 志
本社理事・代議員 野口 良孝
本社代議員 三戸 俊彦・江畑 佳明
久米 正雄
支部監査委員 新谷 明弘・伊藤 新

5. 青少年赤十字

区分	加盟登録数	メンバー数
幼稚園・保育園	41 園	3,490人
小学校	106 校	20,490人
中学校	52 校	9,405人
高等学校	28 校	1,298人
計	227園(校)	34,683人

6. 赤十字奉仕団

区分	団数	団員数
地域	53団	14,915人
青年(学生)	5団	170人
特殊	7団	310人
計	65団	15,395人

7. 秋田県赤十字有功会員 個人 168人
法人 65社

8. 講習普及活動

区分	講習回数	受講者数	指導員数
防災セミナー	4回	68人	8人
救急法	71回	1,762人	93人
健康生活支援	50回	1,533人	34人
水上安全法	7回	324人	28人
幼児安全法	28回	492人	34人
コロナウイルス	30回	1,019人	0人
計	186回	5,130人	189人

9. 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業(資金援助)
救急法普及支援事業(東ティモール・ラオス)
青少年赤十字海外支援事業(ネパール・バヌアツ)
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10. 災害救護

災害対策本部要員	14人	
救護班要員	9班	67人
血液供給要員	3人	
無線局(基地局含)	150MHz	33局
	400MHz	24局
救護車両	6台	
備蓄救援物資	毛布	2,540枚
	緊急セット	1,590個
	安眠セット	470個
	タオルケット	1,899枚

11. 医療事業(秋田赤十字病院)

総病床数	480床	
内訳	一般医療	344床
	救命救急医療	50床
	周産期医療	56床
	神経病医療	30床
入院		139,127人
	1日平均	381.2人
外来		184,563人
	1日平均	762.7人

12. 血液事業(秋田県赤十字血液センター)

献血ルーム	2(血液センター、アトリエ献血ルーム)	
移動採血車	3台	
献血者数(延人数)	供給本数(200mL献血由来換算)	
200mL献血 931人	赤血球製剤	47,585本
400mL献血 25,680人	血漿製剤	12,019本
成分献血 15,402人	血小板製剤	73,430本
計 42,013人	計	133,034本

13. 社会福祉施設(秋田赤十字乳児院)

定員	30人
年度末在所児童数	18人

14. 職員数(嘱託・臨時職員等は除く、令和3年4月1日現在)

日本赤十字社秋田県支部	8人
秋田赤十字病院	758人
秋田県赤十字血液センター	50人
秋田赤十字乳児院	21人
計	830人

15. 会計(令和3年度当初予算)

支部	179,442千円	
病院	収益的収入	15,011,343千円
	収益的支出	15,281,876千円
乳児院	歳入	333,425千円
	歳出	279,440千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731 FAX 018 (864) 6852
URL <https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/>
E-mail info@akita.jrc.or.jp

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp>

附属あきた健康管理センター

〒010-0001 秋田市中通三丁目4番23号
TEL 018 (832) 1601 FAX 018 (832) 1603

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通2丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp>
E-mail info@akita-nyuji.jrc.or.jp

<案内図>

